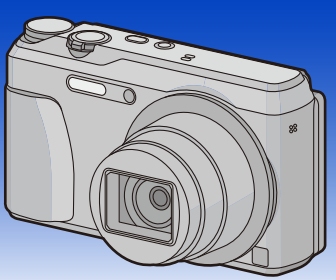
Panasonic

取扱説明書 活用ガイド

デジタルカメラ

品番 DMC-TZ55

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（付属冊子「取扱説明書」）を必ずお読みください。**

SDXC

Wi Fi CERTIFIED

Wi-Fi PROTECTED SETUP

困ったときは？

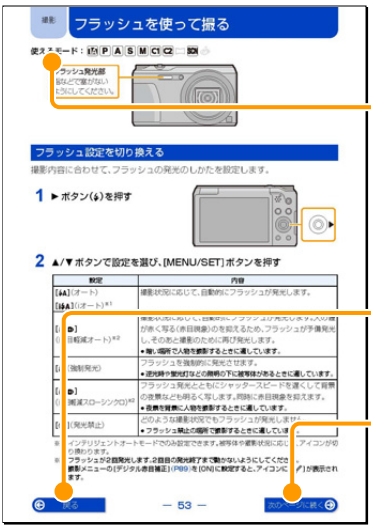
メッセージ表示：154 ページ
Q&A 故障かな？と思ったら：157 ページ

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/dsc/

VQT5H40
F0314MR0

本書の見方



使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

説明している機能がどの撮影モードで使えるかを表しています。

- 黒のアイコン　：使えるモード
- グレーのアイコン：使えないモード

C1、C2は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。

戻る

クリックすると、直前の表示に戻ります。

次のページに続く

説明が次のページに続きます。クリックして次のページもお読みください。

- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
- お使いの Adobe Reader のバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

知りたいことの探し方

本書では、知りたいことを以下のページから探すことができます。
参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。

「目次」から探す　P3 ～

やりたいことから探す —目的別かんたん目次—　P8 ～

キーワードから探す —さくいん—　P172 ～

カメラに表示されたメッセージから探す —メッセージ表示—　P154 ～

「Q & A 故障かな？と思ったら」から探す　P157 ～

目次

本書の見方 2
知りたいことの探し方 2
目的別かんたん目次 8

はじめに

ご使用の前に 10
付属品 11
各部の名前 12

準備

バッテリーを充電する 15
バッテリーを入れる 16
充電する 17
使用時間と撮影枚数の目安 19
カード(別売)を入れる・取り出す 20
内蔵メモリー/カードについて 21
記録可能枚数・時間の目安 23
時計を設定する 24
時計設定を変更する 24
本機の構え方について 25
ストラップを取り付けて正しく構える 25
手ブレを防ぐために 25

基本

撮影モードを選ぶ 26
カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード) 27
設定を変更する 29
お好みの設定で撮る(プログラムAEモード) 30
ピントの合わせ方 31
動画を撮る 32
動画撮影中に写真を記録する 34
見る 35
複数の画像を一覧表示する(マルチ再生) 36
再生画面を拡大する(再生ズーム) 36
動画から写真を作成する 36
画像を消去する 37
1枚消去 37
複数消去(50枚まで)/全画像消去 37
メニューを使って設定する 38
メニューの設定方法 38
クイックメニューを使う 40
セットアップメニューを使う 41

撮影

自分も一緒に写る（自分撮りモード）.....47
モニターの表示を切り換える.....50
ズームを使って撮る.....51
光学ズーム.....51
EX光学ズーム（EZ）.....52
iAズーム.....52
デジタルズーム.....52
フラッシュを使って撮る.....53
フラッシュ設定を切り換える.....53
近づいて撮る（AFマクロ撮影/ズームマクロ撮影）.....56
セルフタイマーを使って撮る.....57
露出を補正して撮る.....58
露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）.....59
絞り/シャッタースピードを決めて撮る.....60
絞り優先AEモード.....60
シャッター優先AEモード.....60
マニュアル露出モード.....61
パノラマ写真を撮る（パノラマモード）.....62
撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）.....64
人物.....65
美肌.....65
風景.....65
スポーツ.....65
夜景&人物.....66
夜景.....66
手持ち夜景.....66
逆光補正HDR.....67
料理.....67
赤ちゃん1/赤ちゃん2.....68
ペット.....68
夕焼け.....69
高感度.....69
星空.....69
ガラス越し.....69

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）.....70
ポップ.....71
レトロ.....71
オールドデイズ.....71
ハイキー.....71
ローキー.....72
セピア.....72
ダイナミックモノクローム.....72
インプレッシブアート.....72
ハイダイナミック.....73
クロスプロセス.....73
トイフォト.....73
ジオラマ.....74
ソフトフォーカス.....74
クロスフィルター.....75
ワンポイントカラー.....75
カスタムモードで撮る（カスタムモード）.....76
お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録）.....76
登録したカスタムセットで撮る.....77
文字を入力する.....78
撮影メニューを使う.....79
記録画素数.....79
クオリティ.....79
ISO感度.....80
ホワイトバランス.....81
オートフォーカスモード.....83
測光モード.....85
暗部補正.....85
iAズーム.....86
デジタルズーム.....86
連写.....87
AF補助光.....88
デジタル赤目補正.....89
手ブレ補正.....89
日付焼き込み.....90
自分撮り.....90
動画メニューを使う.....91
画質設定.....91
AF連続動作.....91
風音低減.....91

再生・編集

いろいろな再生方法 92
スライドショー 92
絞り込み再生 94
カレンダー検索 96
撮影した写真で楽しむ（クリエイティブレタッチ） 97
再生メニューを使う 98
位置情報記録 98
タイトル入力 99
文字焼き込み 100
クリエイティブレタッチ 101
動画分割 102
リサイズ（縮小）　画像サイズ（画素数）を小さくする 103
トリミング（切抜き）　画像を切り抜く 104
プリント設定 105
プロテクト 107
コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする 108

Wi-Fi

Wi-Fi®機能について 109
Wi-Fi 機能でできること 111
スマートフォン/タブレットとつないで使う 112
スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする 112
スマートフォン/タブレットと接続する 113
スマートフォン/タブレットで撮影する（リモート撮影） 117
カメラの画像を再生する 117
カメラの画像を保存する 118
スマートフォン/タブレットからカメラに位置情報を送信する 118
カメラを操作してスマートフォン/タブレットに画像を送る 119
パソコンに画像を送る 123
画像を自動で転送する（おまかせ画像転送） 126
おまかせ画像転送の設定をする 127
自動転送する 128
今すぐ画像を転送する 128
[転送先設定] 129
[充電優先] 129
[ログ表示] 129

接続について……130
自宅で接続する（ネットワーク経由）……131
外出先で接続する（直接接続）……133
以前と同じ設定で素早く接続する（[履歴から接続]/[お気に入り接続]）……134
画像の送信設定について……136
Wi-Fi設定メニュー……138

他の機器との接続

テレビで見る……140
写真や動画をパソコンに残す……142
パソコンに画像を取り込む……143
プリントする……145
画像を選んで1枚ずつプリントする……146
複数の画像を選んでプリントする……146
プリントの各種設定……147
画像に日付を入れるには……149

その他・Q&A

別売品のご紹介……150
海外旅行先で使う……151
モニターの表示……152
メッセージ表示……154
Q & A　故障かな？と思ったら……157
使用上のお願い……167
さくいん……172

目的別かんたん目次

■ 撮影について

●カメラにおまかせでシーンに最適の撮影をしたい	iA インテリジェントオート SCN シーンモード	P27 P64
●明るさを好みに合わせて写真を撮りたい	露出補正	P58
●黒つぶれ/白飛びを抑えて撮りたい	露出補正 逆光補正HDR	P58 P67
●撮りたいものにピントを合わせたい	AF オートフォーカスモード	P83
●決定的瞬間を逃さず撮りたい	連写	P87
●自分も撮りたい	自分撮りモード セルフタイマー	P47 P57
●背景までピントを合わせて撮りたい	A 絞り優先AE	P60
●動きを止めた写真を撮りたい ●動きのある写真を撮りたい	S シャッター優先AE	P60
●絞り値とシャッタースピードを自分で決めて撮りたい	M マニュアル露出	P61
●暗いところでブレなく撮りたい	i手持ち夜景 手持ち夜景 ISO ISO感度	P29 P66 P80
●自然な色合いにして撮りたい	WB ホワイトバランス	P81
●パノラマ写真を撮りたい	パノラマ	P62
●いろいろな画像効果で撮りたい	クリエイティブコントロール	P70
●動画を撮りたい	MP4動画	P32, 91
●動画撮影中に写真を記録したい	同時記録	P34
●よく使うメニューをすぐに呼び出したい	クイックメニュー(Q.MENU)	P40

■ 再生について

●撮影した写真・動画をスライドショーで楽しみたい	スライドショー	P92
●撮影した写真を簡単に見栄えよくしたい	クリエイティブレタッチ	P97
●ハイビジョンテレビで写真・動画を見たい	HDMI接続	P140
●画像をパソコンに取り込みたい	USB接続	P143

■ Wi-Fiについて

●スマートフォン/タブレットで操作したい	リモートで撮る	P112
●写真を撮るたびに送信したい	撮影中に画像を送る	P120
●撮影後に画像を選んで送信したい	カメラ内の画像を送る	P121
●撮影した画像を自動でパソコンなどに転送したい	おまかせ画像転送	P126

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  – 本機を落とす、またはぶつける
  – 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
  – 本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
  – レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  – 砂やほこりの多いところ
  – 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■ 露付きについて(レンズが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

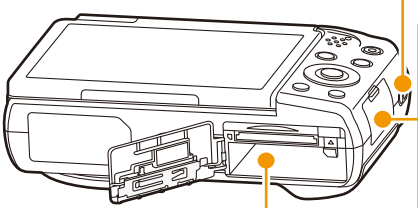
あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P167)

付属品

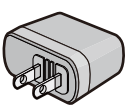
付属品をご確認ください。

記載の品番は2014年1月現在のものです。変更されることがあります。

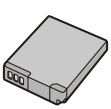


ハンドストラップ
VFC4737-A

USB接続ケーブル
K1HY08YY0037



AC アダプター
VSK0771
（本文中では
AC アダプター(付属)
と表記します）
- 充電、撮影および再生に使用できます。



バッテリーパック
DMW-BCM13
（本文中では**バッテリー**と表記します）
- 充電してからお使いください。

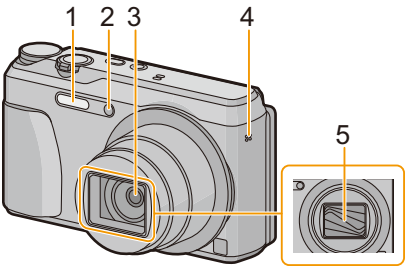
- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については150 ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

パナソニックグループのショッピングサイト
Panasonic Store

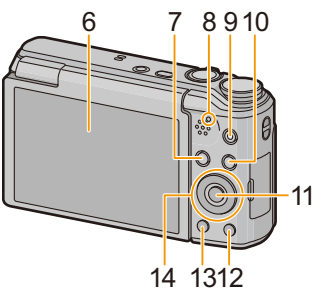
付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
http://jp.store.panasonic.com/

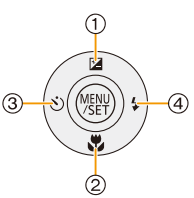
各部の名前

1 フラッシュ発光部(P53)
2 セルフタイマーランプ(P57)
AF補助光ランプ(P88)
3 レンズ部(P10、168)
4 スピーカー
● スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。
5 レンズバリア



6 モニター(P50、152、167)
● 保護フィルムをはがしてお使いください。
7 [EXPOSURE](エクスポージャー)ボタン(P60、61)
8 充電ランプ(P17)
Wi-Fi®(ワイファイ)接続ランプ(P110)
9 動画ボタン(P32)
10 [▶](再生)ボタン(P35)
11 [MENU/SET](メニュー セット)ボタン(P38)
12 [Q.MENU](クイックメニュー)ボタン(P40)
[🗑/↩](消去/戻る)ボタン(P37)
13 [DISP.](ディスプレイ)ボタン(P50)
14 カーソルボタン
①: ▲(上)/[⚄](露出補正/オートブラケット)(P58、59)
②: ▼(下)/[🌷](マクロ撮影/追尾AF)(P56、84)
③: ◀(左)/[♡](セルフタイマー)(P57)
④: ▶(右)/[⚡](フラッシュ)(P53)





本書では、カーソルボタンを以下のように、イラストまたは▲/▼/◀/▶で説明しています。
例: ▼(下)ボタンを押すとき

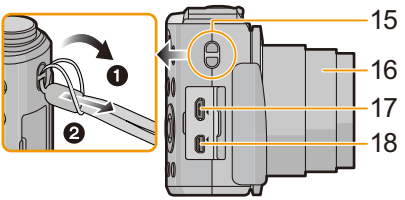
または　**▼ボタンを押す**

15 ストラップ取り付け部(P25)
- 落下防止のため、必ず付属のストラップを取り付け、手首に通してご使用ください。

16 レンズ鏡筒

17 [HDMI]端子(P140)
- HDMIマイクロケーブル(別売)以外は接続しないでください。故障の原因になります。

18 [AV OUT/DIGITAL]端子(P17、141、143、145)
- バッテリーを充電するときにも使用する端子です。



19 マイク
- マイクを指で塞がないようお気をつけください。

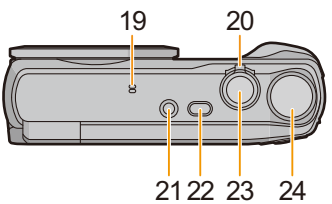
20 ズームレバー(P51)

21 [Wi-Fi]ボタン(P110、113)

22 電源ボタン(P24)

23 シャッターボタン(P27、30)

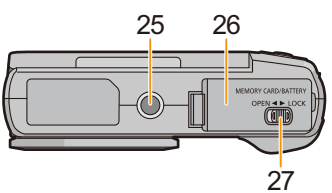
24 モードダイヤル(P26)



25 三脚取り付け部
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。
- 三脚の種類によっては、適切に取り付けできない場合があります。

26 カード/バッテリー扉(P16、20)

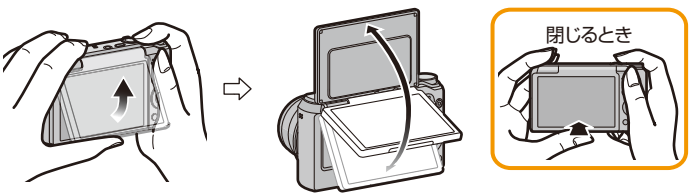
27 開閉レバー(P16、20)



モニター

モニターの角度を調整することができます。

❶　❷



❶ モニター下部を軽く押し上げて開く
❷ モニターの角度を調整する

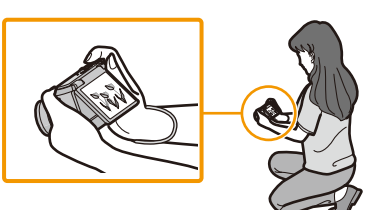
- **モニターに指などを挟まないようにお気をつけください。**
- **モニターを回転させるときは、無理な力を加えたり、カメラを落とさないようお気をつけください。傷や故障の原因になります。**
- 本機を使用しないときは、モニターを元の位置に完全に閉じてください。

■ いろいろなアングルで撮る

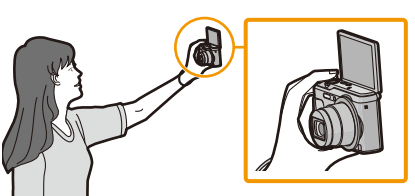
モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

- AF補助光ランプを指などで塞がないでください。

ローアングル撮影



自分撮り



- モニターを図のように回転させると自分撮りモードになります。(P47)

バッテリーを充電する

本機専用のACアダプター(付属)、USB接続ケーブル(付属)、バッテリーを使用してください。

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。

本機の状態	充電
電源オフ	できます
電源オン	できません

- AC アダプター(別売:DMW-AC9)でも、本機にバッテリーを入れて充電できます。
- バッテリーチャージャー(別売:DMW-BTC11)でも充電できます。

■ 本機で使えるバッテリー(2014年1月現在)

本機で使えるバッテリーはDMW-BCM13です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

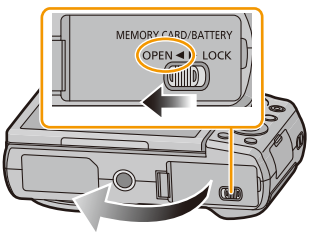
■ 電源の供給(給電)について

本機にバッテリーを入れた状態でACアダプター(付属)を使用すると、USB接続ケーブル(付属)を経由して、電源コンセントから電力を供給(給電)することができます。

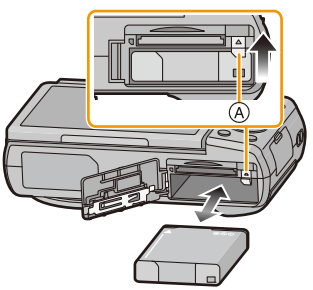
- 撮影中はバッテリーを消耗する場合があります。バッテリー残量がなくなると、電源が切れます。
- ACアダプター(付属)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。

バッテリーを入れる

1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

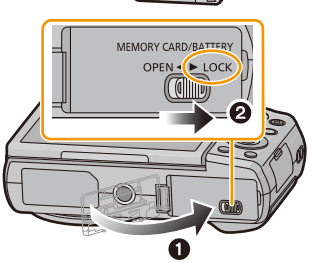


2 向きに気をつけて、確実に奥まで挿入し、バッテリーにⒶのレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、Ⓐのレバーを矢印の方向に引いて取り出す



3 ❶ カード/バッテリー扉を閉じる

❷ 開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

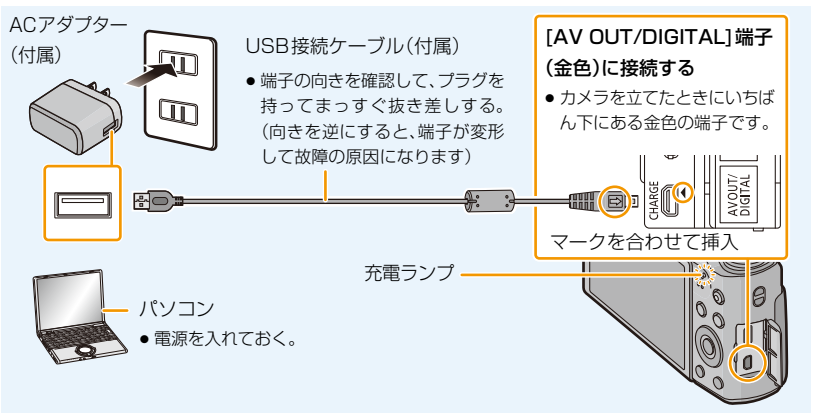


- バッテリーの取り出しは、電源を切り、モニターのLUMIX表示が完全に消えてから行ってください。
（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れる場合があります）

充電する

- 充電は周囲の温度が10 ℃～30 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで行うことをお勧めします。

本機にバッテリーを入れてください。
電源が切れていることを確認してください。



（電源コンセントから充電する）
ACアダプター（付属）と本機をUSB接続ケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプター（付属）を電源コンセントに差し込む

（パソコンから充電する）
パソコンと本機をUSB接続ケーブル（付属）でつなぐ

- 充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
- 必ずパソコンのUSB端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。

■ 充電ランプの表示について

赤色点灯：充電中

消灯：　充電終了（充電終了後は、電源コンセントまたはパソコンとの接続を解除してください）

赤色点滅：充電エラー（詳しくは、157 ページをお読みください）

■ 充電時間について

ACアダプター（付属）使用時

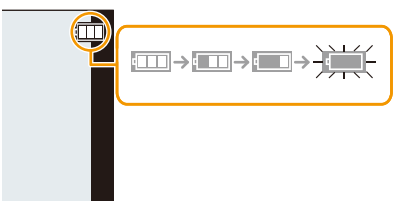
充電時間	約210分

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**
- **パソコンからの充電時間は、パソコンの給電能力によって異なります。**

■ バッテリー残量表示について

残量表示がモニターに表示されます。

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。
  バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。



- **電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。
- 付属のACアダプターまたは、当社製ACアダプター（別売：DMW-AC9）以外は使わないでください。故障の原因になります。
- USB延長ケーブルは使用しないでください。
- ACアダプター（付属）とUSB接続ケーブル（付属）は本機専用です。他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。（長期間放置すると、バッテリーは消耗します）
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。
  USB接続ケーブル（付属）を抜き、接続し直してください。
- ACアダプター（付属）やパソコンにつないでも本機の充電ランプが点灯しない場合は正しく接続しているか確認してください。
- 満充電後は、USB接続ケーブル（付属）をつなぎ直すと、しばらくの間充電ランプが点灯します。

使用時間と撮影枚数の目安

■ 写真記録

記録可能枚数	約350枚	条件はCIPA規格でプログラムAEモード時
撮影使用時間	約210分	

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%RH、モニターを点灯
- 当社製のSDメモリーカード使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正が[ON]のとき）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。
[例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30秒に1回撮影）の枚数の約1/4になります]

■ 動画撮影

画質設定が[FHD]のとき

撮影可能時間	約100分
実撮影可能時間	約50分

- 温度23 ℃/湿度50%RHの環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源の入り/切り、撮影の開始/終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- 1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。
  記録できる時間は、画面で確認できます。（[FHD]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります）

■ 再生

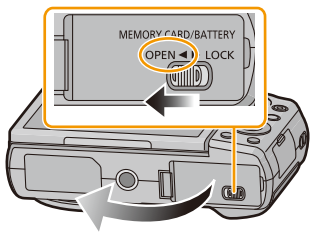
再生使用時間	約240分

- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間は少なくなり、撮影枚数は減少します。
  – スキー場などの低温下
  – [モニター輝度]使用時
  – フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返した場合
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

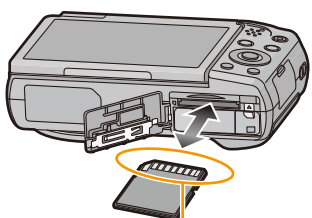
カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源が切れていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをお勧めします。

1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く



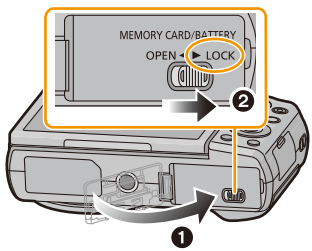
2 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く



接続端子部
端子部には触れないでください。

3 ❶ カード/バッテリー扉を閉じる

❷ 開閉レバーをLOCK側にスライドさせる



- カードの取り出しは、電源を切り、モニターのLUMIX表示が完全に消えてから行ってください。
(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れる場合があります)

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。

カードを挿入していない場合	内蔵メモリーで画像の記録・再生を行います。
カードを挿入している場合	カードで画像の記録・再生を行います。

内蔵メモリーの場合
IN →IN (アクセス表示※1)
カードの場合
(アクセス表示※1)
※1 アクセス時は赤く表示されます。

内蔵メモリー

- 記録した画像はカードにコピーすることができます。(P108)
- **容量:約70 MB**
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。
(本書では、これらを**カード**と記載しています)

	備考
SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/miniSDカード※2/microSDカード※2	● **動画撮影の際は、SDスピードクラス※3が「Class4」以上のカードを使用してください。** ● SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。 ● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 **http://panasonic.jp/support/sd_w/** ● 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/microSDHCカード※2	
SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)	

※2 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。
※3 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面でご確認ください。

(例) CLASS 4 4

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

- **アクセス中（画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など）は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプターを取り外さないでください。**
  また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P46)

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数・時間の表示について

- 記録可能枚数と時間など、画面表示は[DISP.]ボタンを押して切り換えてください。(P50)
- 記録可能枚数・時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)

記録可能枚数

記録可能時間

■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 残り枚数が100000枚以上の場合は、[+99999]と表示されます。

クオリティ[▲]の場合

記録画素数	内蔵メモリー (約70 MB)	2 GB	32 GB	64 GB
16M(4:3)	12	335	5400	10800
3M(4:3)	35	1000	16300	33000
0.3M(4:3)	180	4900	79600	120000

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h:時間、m:分、s:秒)

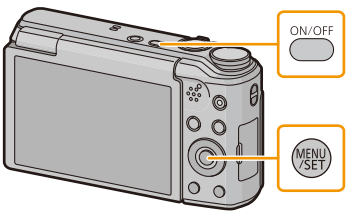
画質設定	内蔵メモリー (約70 MB)	2 GB	32 GB	64 GB
FHD	—	12m00s	3h34m00s	7h10m00s
HD	—	23m00s	7h38m00s	15h23m00s
VGA	1m50s	1h07m00s	18h02m00s	36h30m00s

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。
  記録できる時間は、画面で確認できます。([FHD]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)

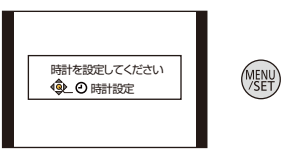
時計を設定する

● お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源ボタンを押す



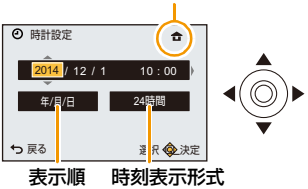
2 [MENU/SET]ボタンを押す



3 ◀/▶ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼ボタンで設定する

● [🗑/↩]ボタンを押すと、時計を設定せずに中止することができます。

:ホームの時間
:旅行先の時間



表示順　時刻表示形式

4 [MENU/SET]ボタンを押して決定する

5 [MENU/SET]ボタンを押す

時計設定を変更する

セットアップメニューの[時計設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押してください。(P38)

● 上記の手順**3**、**4**の操作で変更できます。

● **時計設定はバッテリーを取り出しても、内蔵電池を使って約14日間記憶されます。**
(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約2時間入れてください)

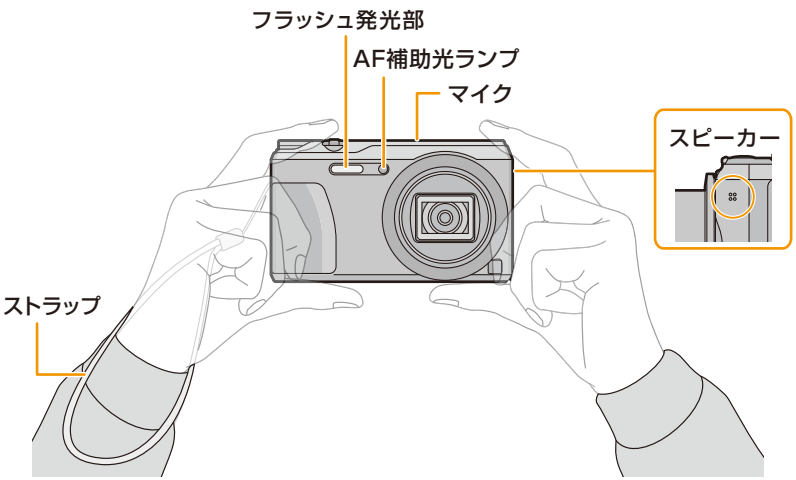
● 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや[日付焼き込み]、[文字焼き込み]を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
また、電源を切ると各種設定がリセットされる場合があります。

本機の構え方について

ストラップを取り付けて正しく構える

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- ストラップを取り付けたまま、本機を振り回したり、無理に引っ張ったりしないでください。ストラップのひもが切れるおそれがあります。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカー、レンズ部などに指がかからないようにしてください。



■ 縦位置検出機能について ([縦位置自動回転])

本機を縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([縦位置自動回転](P46)設定時)

- 本機を縦に構えた状態で、上に向けたり下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

手ブレを防ぐために

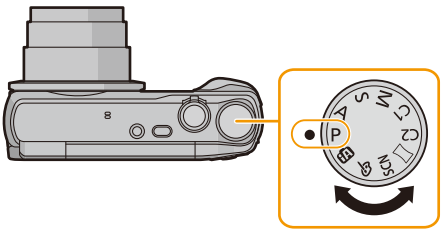
手ブレ警告表示[]が表示されたときは、手ブレ補正(P89)、三脚、セルフタイマー(P57)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が表示されるまで本機を動かさないでください。
  - 赤目軽減スローシンクロ
  - シーンモードの[夜景&人物]/[夜景]/[星空]

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



● の部分に使用したいモードを合わせる

■ 撮影モード一覧

iA	**インテリジェントオートモード**(P27)
	カメラにおまかせで撮影します。
P	**プログラムAEモード**(P30)
	お好みの設定で撮影します。
A	**絞り優先AEモード**(P60)
	絞り値を決めて撮影します。
S	**シャッター優先AEモード**(P60)
	シャッタースピードを決めて撮影します。
M	**マニュアル露出モード**(P61)
	絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
C1 C2	**カスタムモード**(P76)
	あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
	パノラマモード(P62)
	パノラマの写真を撮影します。
SCN	**シーンモード**(P64)
	撮影シーンに合わせて撮影します。
	クリエイティブコントロールモード(P70)
	画像効果を確認しながら撮影します。

- モードダイヤルを続けて回すと、画面の切り換わりが遅れる場合があります。

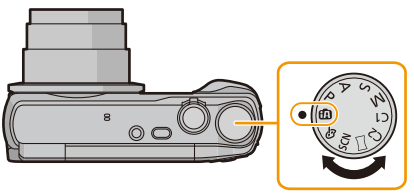
カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード： iA

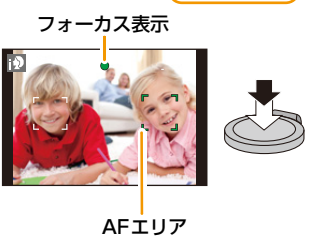
被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときや初心者にお勧めです。

- 以下の機能が自動的に働きます。
  - 自動シーン判別/逆光補正/インテリジェントISO/オートホワイトバランス/顔認識/暗部補正/iAズーム/AF補助光/デジタル赤目補正/手ブレ補正/AF連続動作

1 モードダイヤルを[iA]に合わせる



2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる



- ピントが合うと、フォーカス表示(緑)が点灯します。
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。
- ズーム倍率により最短撮影距離(もっとも被写体に近づける距離)は変わります。画面の撮影可能範囲表示で確認してください。(P31)
- 画面に[追尾AF]と表示されている状態で▲ボタンを押すと、追尾AFを設定できます。詳しくは、84 ページをお読みください。
(もう一度▲ボタンを押すと、追尾AFは解除されます)

3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示されたあと、通常の赤色に変わります。

写真撮影時

i人物	i風景	iマクロ	i夜景&人物※1
i夜景	i手持ち夜景※2	i夕焼け	

※1 フラッシュを[iA]に設定したときのみ表示されます。
※2 [i手持ち夜景]を[ON]に設定したときのみ表示されます。

動画撮影時

i人物	i風景	iローライト	iマクロ

- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [i人物]、[i夜景&人物]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**
- [i夜景]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大4秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - 被写体条件
    顔の明暗/被写体の大きさ・色/被写体までの距離/被写体の濃淡/ 被写体が動いているとき
  - 撮影条件
    夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生したとき/ズーム倍率

逆光補正について

カメラが自動で画像を明るくすることにより、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。インテリジェントオートモードでは、逆光補正が自動で働きます。(逆光の状況によっては、正しく判定されない場合があります)

設定を変更する

設定できるメニューは以下のとおりです。

メニュー	項目
撮影	[記録画素数]※/[連写]※/[プレピタモード]/[i手持ち夜景]/[iHDR]/[自分撮り]
動画	[画質設定]
セットアップ	[取扱説明書のWebサイト]/[時計設定]/[ワールドタイム]/[機内モード]/[操作音]※ ● 上記以外の項目は表示されません。上記以外の項目は、他の撮影モードで設定することができます。
Wi-Fi	[新規に接続]/[履歴から接続]/[お気に入り接続]/[Wi-Fi設定]

● メニューの設定方法については38 ページをお読みください。
※ 他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

インテリジェントオートモード独自のメニューについて

■ プレピタモード

[プレピタモード]を[ON]に設定すると、撮影画面に[((人))]が表示されます。被写体の動きに応じて最適なシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。

● お買い上げ時、[ON]に設定されています。

■ i手持ち夜景

[i手持ち夜景]を[ON]に設定すると、手持ち撮影で夜景を撮影中に[🌃]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の画像に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ないきれいな夜景を撮影したいときに効果的です。三脚などでカメラを固定しているときは、[🌃]と判別されません。

● お買い上げ時、[ON]に設定されています。

■ iHDR

[iHDR]を[ON]に設定すると、背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。

● お買い上げ時、[ON]に設定されています。
● 連写合成する場合は、画面に複数枚撮影のメッセージが表示され、連写撮影されます。ただし、連写合成なしで補正できるとカメラが判断したときは、連写撮影されません。
● 連写合成した場合、動いている被写体の残像が記録される場合があります。
● 以下の場合、連写合成は行われません。
  – ズーム倍率が20倍を超えるとき
  – [連写]撮影時
  – フラッシュが発光するとき

フラッシュについて(P53)

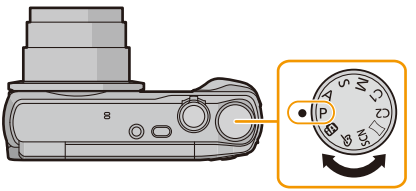
● [iA]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[iA]、[iA⊙]、[iS⊙]、[iS]になります。
● [iA⊙]、[iS⊙]のときは、[デジタル赤目補正]が働きます。
● [iS⊙]、[iS]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

お好みの設定で撮る（プログラムAEモード）

撮影モード： P

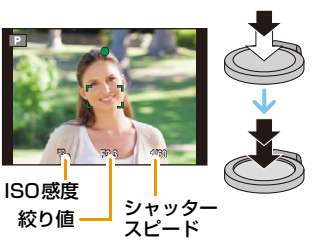
被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを［P］に合わせる



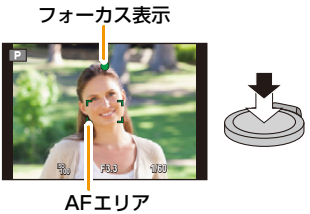
2 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する



ピントの合わせ方

被写体にAFエリアを合わせて、シャッターボタンを半押しする



ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

- 暗いときやズーム倍率によっては、AFエリアは大きく表示される場合があります。

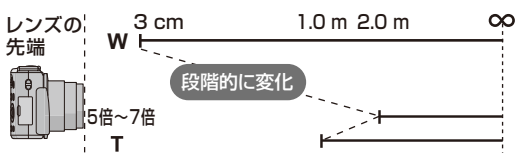
■ ピントの合う範囲について

ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。

- シャッターボタンを半押ししているときに、ピントが合っていないと撮影可能範囲が赤く表示されます。

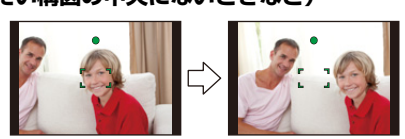
撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

例)インテリジェントオートモードでのピントの合う範囲



■ ピントが合わないとき(被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど)

1. 被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押しし、ピントと露出を固定する
2. シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に本機を動かし、撮影する



- 手順1の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

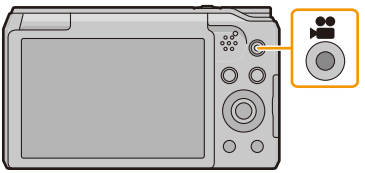
- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のない被写体
- ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

動画を撮る

使えるモード：iA P A S M C1 C2 SCN

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- [画質設定]については、91 ページをお読みください。



2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

■ 動画記録方式について

本機はMP4の記録方式で動画撮影ができます。

MP4とは：

単体の動画ファイルとして保存されるため、パソコンでの編集やWebアップロードに適した記録方式です。

■ 撮影した動画の互換性について

撮影された動画は、MP4対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で同じ場合でも、動画撮影開始時に画角が変わる場合があります。
  [動画記録枠表示](P44)を[ON]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- **動画撮影中のズームについて**
  - EX光学ズームやiAズームを使っている場合、動画撮影開始時や終了時に画角が大きく変わることがあります。
  - 動画撮影中にズーム操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
  - 動画撮影中のズームスピードは通常より遅くなります。
  - 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 以下の場合、動画撮影できません。
  - クリエイティブコントロールモードの[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]
- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれの撮影モードに合った動画を撮影できます。

選択されている撮影モード	動画撮影時の撮影モード
プログラムAEモード/絞り優先AEモード/ シャッター優先AEモード/ マニュアル露出モード/ シーンモードの[スポーツ]、[逆光補正HDR]、[ペット]	通常動画
シーンモードの[赤ちゃん 1]、[赤ちゃん2]	人物モード
シーンモードの[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[星空]	ローライトモード

動画撮影中に写真を記録する

動画撮影中でも写真を撮影することができます。（同時記録）

動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

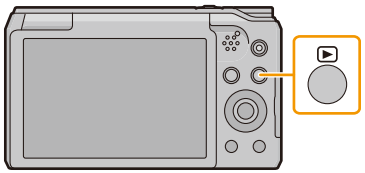
- 以下の条件で記録されます。

画質設定	記録画素数
[FHD]、[HD]	3.5M（16:9）

- 1回の動画撮影中に記録可能な写真枚数は最大2枚です。
- 以下の場合、同時記録はできません。
  – [画質設定]の[VGA]に設定時
  – クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
- 動画撮影中にシャッターボタンを半押しして写真撮影を行うと、ピントを合わせ直すため、撮影中の動画にもピント合わせの動きが記録されます。動画の映像を優先する場合は、シャッターボタン全押しによる写真撮影を行うことをお勧めします。
- シャッターボタンを半押しすると、記録画素数と記録可能枚数が表示されます。
- 写真撮影後は動画撮影が続きます。
- 動画撮影中に写真撮影をすると、シャッターボタンの操作音が記録される場合があります。
- **フラッシュは[⊘]になります。**

見る

1 [▶]ボタンを押す



2 ◀/▶ボタンで画像を選ぶ

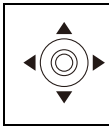
- ◀/▶ボタンを押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。

■ 動画を見る

◀/▶ボタンで動画アイコン([MP4 WGA]など)が付いた画像を選び、▲ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、再生経過時間が表示されます。
  例)8分30秒のとき:08m30s

● **動画再生中の操作**



▲	再生/一時停止
▼	停止
◀	早戻し※/コマ戻し(一時停止中)
▶	早送り※/コマ送り(一時停止中)

※ もう一度▶/◀ボタンを押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

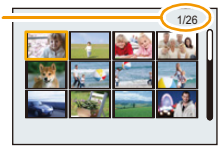
– 音量はズームレバーで調整できます。

- カメラの電源が入っていないときに、[▶]ボタンを長めに押すと、電源を入れることができます。
  電源が入ると、自動的に再生画面が表示されます。
  (カードに記録されている画像が多いと、電源が入るまでに時間がかかる場合があります)
- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。
  DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 本機で撮影、編集した画像は、他機では正しく再生されない場合や、効果が反映されない場合があります。また、他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。
- 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
  収納のためにレンズ鏡筒が動いている間は、本機を操作できない場合があります。
- 本機で再生できる動画のファイル形式はMP4です。
- 再生時は、スピーカーを塞がないようにお気をつけください。

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

ズームレバーを [▪▪]（W）側に回す
1画面⇨12画面⇨30画面⇨
カレンダー検索

選択画像番号/トータル枚数



- ズームレバーを [🔍]（T）側に回すと、1つ前に戻ります。
- [[!]] と表示される画像は再生できません。

■ 1画面表示に戻すには

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

再生画面を拡大する（再生ズーム）

ズームレバーを [🔍]（T）側に回す
1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

ズーム位置表示

- 拡大したあと、ズームレバーを [▪▪]（W）側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約2秒間ズーム位置表示が表示され、▲/▼/◀/▶ボタンで拡大部分の位置を移動させることができます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。

動画から写真を作成する

撮影した動画から、1枚の写真を作成できます。

1 **動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止にする**

2 **[MENU/SET] ボタンを押す**

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- 以下の設定で保存されます。

記録画素数	2M（16:9）
クオリティ	▪▪

- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
- [HD]/[VGA] で撮影された動画からは、写真を作成できません。

画像を消去する

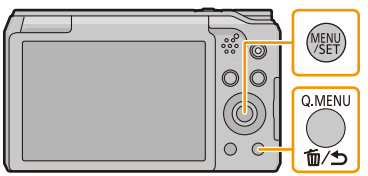
画像は一度消去すると元に戻すことができません。

- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。
- DCF規格外または[プロテクト]設定された画像は、消去できません。

1枚消去

消去する画像を選び、[🗑/↩]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。
  [はい]を選ぶと消去されます。



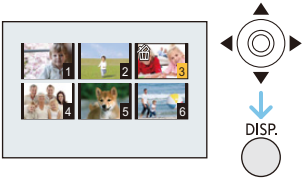
複数消去(50枚まで)/全画像消去

1 **[🗑/↩]ボタンを押す**

2 **▲/▼ボタンで[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。
  [はい]を選ぶと消去されます。

3 **([複数消去]選択時)**
▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[DISP.]ボタンで設定する(繰り返す)



- 設定した画像に[🗑]が表示されます。
  もう一度[DISP.]ボタンを押すと設定が解除されます。

4 **([複数消去]選択時)**
[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

- 消去中は電源を切らないでください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニューを使って設定する

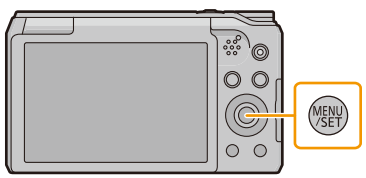
お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

メニューの設定方法

● モニターを回転させて自分撮りモードにしているときは、メニュー画面は表示されません。

例）撮影メニューで、[オートフォーカスモード]を[▣]（1点）から[👤]（顔認識）に設定する

1 [MENU/SET]ボタンを押す

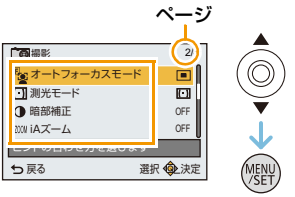


2 ▲/▼/◀/▶ボタンでメニューを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

メニュー	内容
撮影（P79 ～） **（撮影モードのみ）**	色合いや感度、画素数などをお好みで設定できます。
動画（P91） **（撮影モードのみ）**	画質設定など動画撮影時の設定ができます。
再生モード（P92 ～） **（再生モードのみ）**	表示する画像を絞り込んでの再生やスライドショー再生など、再生方法を設定できます。
再生（P98 ～） **（再生モードのみ）**	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。
セットアップ（P41 ～）	時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。
Wi-Fi（P109 ～）	Wi-Fiの接続や、Wi-Fi機能を使うために必要な設定ができます。

3 ▲/▼ボタンでメニュー項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- いちばん下まで移動すると、次のページに切り換わります。（ズームレバーを回しても切り換わります）



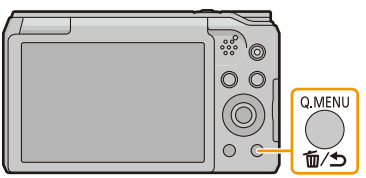
4 ▲/▼ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

■ メニューを終了する

撮影/再生画面に戻るまで、繰り返し[🗑/↩]ボタンを押す

- 撮影時はシャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。



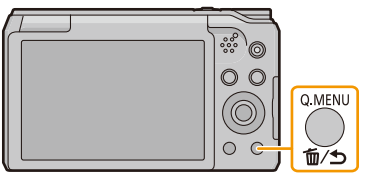
- 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

クイックメニューを使う

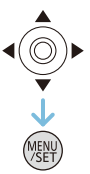
クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

● モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

1 撮影状態で、[Q.MENU] ボタンを押す



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで項目と設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する



セットアップメニューを使う

セットアップメニューの設定方法は P38

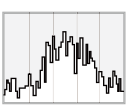
- [時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。
- インテリジェントオートモードでは[取扱説明書の Web サイト]、[時計設定]、[ワールドタイム]、[機内モード]、[操作音]*のみ設定できます。
  ※ 他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

項目	設定・お知らせ
取扱説明書のWebサイト	[URL表示]、[USB接続]、[QRコード表示]
時計設定	● 詳しくは、24 ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。	**[旅行先]、[ホーム]のいずれかを選択後は、◀/▶ ボタンでエリアを選び、[MENU/SET] ボタンを押して決定してください。** ● お買い上げ時はまず[ホーム]を設定してください。[旅行先]の設定は、[ホーム]設定後に行えます。 [旅行先]: 旅行先の地域 現地時刻 ホームとの時差 [ホーム]: お住まいの地域 現在時刻 GMT(グリニッジ標準時)との時差 ● サマータイム[☀]([夏時間])を採用している場合は、▲ボタンを押してください。(時計が 1 時間進みます)もう一度▲ボタンを押すと元に戻ります。 ● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
機内モード Wi-Fiの設定を制限します。	[ON]: Wi-Fiの機能を使えない状態にします。 [OFF] ● 本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内や病院などに本機を持ち込む際は[機内モード]を[ON]に設定のうえ、本機の電源を切ってください。

セットアップメニューの設定方法は P38

項目	設定・お知らせ
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	[操作音音量]： [小] [大] [OFF] [操作音音色]： [❶]、[❷]、[❸] [シャッター音音量]： [小] [大] [OFF] [シャッター音音色]： [❶]、[❷]、[❸]
カスタムセット登録 現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして4つまで登録しておくことができます。	[C1]、[C2-1]、[C2-2]、[C2-3] ● 詳しくは、76ページをお読みください。
モニター調整 モニターの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	[明るさ]：明るさを調整します。 [コントラスト・彩度]：明暗差や色の鮮やかさを調整します。 [赤み]：赤みを調整します。 [青み]：青みを調整します。 **1 ▲/▼ボタンで設定項目を選び、◀/▶ボタンで調整する** **2 [MENU/SET]ボタンを押して決定する** ● 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。

セットアップメニューの設定方法は P38

項目	設定・お知らせ
MON モニター輝度 屋外などの明るい場所でモニターが見にくいときに見やすくします。	[A] (オートパワーモニター)※：　周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [ ] (パワーモニター)：　モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 [OFF] ※ 撮影モード時のみ設定できます。 ● モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● [モニター輝度]を設定すると、使用時間は減少します。
ヒストグラム表示 ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	[ON]、[OFF] ● ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。  暗い ← 適正 → 明るい ● **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。** – 露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが"0"以外のとき – フラッシュが発光するとき – 暗い場所 ● 撮影時は露出補正前のヒストグラムが表示されます。 ● 撮影時のヒストグラムは目安です。 ● 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。 ● パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。 ● 以下の場合、ヒストグラムは表示されません。 – インテリジェントオートモード – パノラマモード – 動画撮影時 – HDMIマイクロケーブル接続時 – マルチ再生 – 再生ズーム – カレンダー検索

セットアップメニューの設定方法は P38

項目	設定・お知らせ
動画記録枠表示 動画撮影時の画角を確認できます。	[ON]、[OFF] ● 動画記録枠表示は目安です。 ● 記録画素数の設定によっては、T側にズームしていくと記録枠表示が消える場合があります。 ● インテリジェントオートモードでは[OFF]に固定されます。
ズーム位置メモリー 電源スイッチを[OFF]にしたときのズーム位置を記憶することができます。	[ON]、[OFF]
ECO エコモード 設定した時間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。 また、モニターを暗くすることでバッテリーの消耗を防ぎます。	[自動電源OFF] [2分]、[5分]、[10分]、[OFF]　設定した時間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 [モニターパワーセーブ]： [ON]、[OFF]　モニターを暗くします。 ● 以下の場合、[自動電源OFF]は働きません。 – パソコンまたはプリンターに接続しているとき – 動画撮影/動画再生時 – スライドショー再生時 – パノラマ再生時(一時停止中) ● デジタルズーム領域では光学ズーム領域と比べて、[モニターパワーセーブ]の効果が低減します。 ● [モニターパワーセーブ]を設定していても、[モニター輝度]の設定が優先されます。

セットアップメニューの設定方法は P38

項目	設定・お知らせ
オートレビュー 写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	[1秒] [2秒] [ホールド]：ボタンを押すまで表示 [OFF] ● 以下の場合、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。 – オートブラケット撮影時 – [連写]撮影時 ● 動画撮影では働きません。
露出補正リセット 電源を切ったり撮影モードを変更したときに、露出補正値を[0 EV]にします。	[ON]、[OFF]
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定、セットアップ設定** ● セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。 – シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日設定、名前設定 ● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。
Wi-Fi設定リセット Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	● カメラを廃棄または譲渡する場合は、設定した個人情報を誤って使用されないためにも、必ずリセットしてください。 ● 修理を依頼する場合も、個人情報の控えをとったあと、必ずリセットしてください。
テレビ接続設定 テレビの種類に合わせて設定します。	[テレビ画面タイプ]: [16:9]：画面が16:9のテレビと接続するとき [4:3]：画面が4:3のテレビと接続するとき ● AVケーブル(別売)を接続時に働きます。

セットアップメニューの設定方法は P38

項目	設定・お知らせ
縦位置自動回転 本機を縦に構えて撮影した画像を縦向きに表示させることができます。	[📺📷](ON)：テレビで表示される映像と本機のモニターの両方で、回転して縦向きに表示します。 [📺](外部出力のみ)：テレビで表示する場合、回転して縦向きに表示します。 [OFF] ● パソコンで再生するとき、Exifに対応していないOSやソフトウェアでは、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです] ● マルチ再生時は、回転されません。
Ver. バージョン表示	● 本体のファームウェアバージョンを確認できます。 ● バージョン表示画面で [MENU/SET] ボタンを押すと、本機のソフトウェアに関する情報を表示します。
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	● フォーマット中は電源を切らないでください。 ● カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ● 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ● カードより内蔵メモリーのほうがフォーマットに時間がかかる場合があります。 ● フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

自分も一緒に写る(自分撮りモード)

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

モニターを回転させると、自分撮りモードになります。
画面を確認しながら撮影できるので、自分も一緒に写った写真を簡単に撮ることができます。

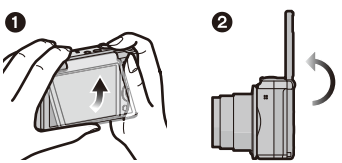
- 撮影メニューの[自分撮り](P90)が[OFF]に設定されていると、モニターを回転させても自分撮りモードにはなりません。(お買い上げ時は[ON]に設定されています)

自分撮りモードでは・・・

- 画面を見ながら撮影するので構図が決めやすくなります。
- 美肌効果をかけて、人物の顔を明るく、肌色を滑らかにできます。
- 撮影枚数を増やして、ポーズや表情を変えた写真を一度に撮影できます。
- その他の設定は各撮影モードの設定に従います。

1 モニターを図のように回転させる

- モニターを回転させると、モニターに映る画像が反転(鏡像)します。



2 [MENU/SET]ボタンを押して、美肌効果や撮影枚数などを設定する

- **画面を見ながら本機背面のボタンを操作します。操作時は、誤操作やカメラの落下にお気をつけください。**

- 以下の設定が変更できます。
  ▲/▼ボタンで設定を選び、◀/▶ボタンで設定内容を選んで[MENU/SET]ボタンを押してください。

設定	設定内容
(美肌効果)※1	[OFF](OFF)、[弱](弱)、[中](中)、[強](強)
(フラッシュ)※2,3	[オート](オート)、iオート※4、赤目軽減オート※5、強制発光、赤目軽減スローシンクロ※5、発光禁止
(撮影枚数)※2	[1枚](1枚)、[2枚](2枚)、[3枚](3枚)、[4枚](4枚)
(カウントダウン)※2	[OFF](OFF)、[3秒](3秒)、[10秒](10秒)

※1 シーンモード、クリエイティブコントロールモード時は設定できません。
※2 パノラマモード、動画撮影時は設定できません。
※3 クリエイティブコントロールモード時は設定できません。
※4 インテリジェントオートモードでのみ設定できます。
※5 撮影メニューの[デジタル赤目補正](P89)を[ON]に設定すると、アイコンに[ ]が表示されます。

3 モニターを見ながらポーズを決める

- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。
  ([オートフォーカスモード]を[]に設定できない撮影モードの場合は、各撮影モードの設定に従います)

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- **撮影時はレンズを見てください。**
- カウントダウンが開始され、カウントが終わると撮影されます。
  撮影枚数を複数枚にしたときは、設定した枚数まで撮影が続きます。

- フラッシュやAF補助光の光を直接見ないようお気をつけください。
- [美肌効果]を設定時は
  – 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
  – 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
- オートレビュー時、撮影画像も反転して表示されています。そのため、[日付焼き込み]で焼き込んだ日付も反転して表示されます。
  ただし、以下の場合、日付は反転して表示されません。
  – インテリジェントオートモードの[i手持ち夜景]判別時
  – シーンモードの[手持ち夜景]

■ 撮影メニューから自分撮りモードの設定を変更する場合

1. モニターを元の位置に閉じる
2. 撮影メニューから[自分撮り]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す(P38)
3. ▲/▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
4. ▲/▼ボタンでメニュー項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
5. ▲/▼ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
   - 設定後はメニューを終了してください。

自分撮りモードでパノラマ写真を撮る

自分撮りモードでパノラマ写真を撮影することもできます。
パノラマモードで撮影することで、友人たちとの集合写真や、背景も広く入れた記念写真など、さまざまな自分撮り写真を楽しむことができます。

- パノラマモードでの撮影については、62 ページの「パノラマ写真を撮る(パノラマモード)」もお読みください。

1 **モードダイヤルを [□] に合わせる**

2 **▲/▼ボタンで撮影する方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**
- 撮影方向を選択する画面が表示されない場合は、▶ボタンを押してください。
- 左右の撮影方向はモニターを回転させると逆になりますので、回転したい方向とは逆の向きを選んでください。

3 **▲/▼ボタンで作例写真から画像効果を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **モニターを回転させて自分撮りモードにする**
- 撮影方法の説明が表示されます。

5 **撮影方法の説明を読み、[MENU/SET] ボタンを押す**
- **説明は次のページに続きます。[MENU/SET] ボタンを押して、次のページへ進んでください。**

6 **カメラを正面に向けて、モニターを見ながらポーズを決める**
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。
- 手順 **3** で [効果なし] を選択した場合は、[MENU/SET] ボタンを押すと美肌効果の設定ができます。(P47)
- 撮影方向など、美肌効果以外の設定を変更したい場合は、一度モニターを元の位置に閉じてから設定し直してください。

7 **シャッターボタンを半押し(または全押し)して、ピントと露出を固定する**
- シャッターボタンを全押しした場合は、一度シャッターボタンを離してください。
- [🗑/↩] ボタンを押すと何回でもやり直せます。

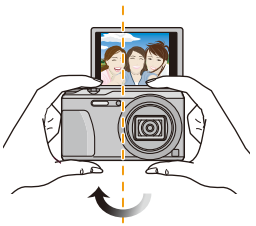
8 **撮影の開始位置へカメラを向けてシャッターボタンを全押しし、手順 2 で選択した方向へ回転させて撮影する**

9 **もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する**
- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。

■ 撮影のテクニック

両手で本機を持ち、揺らさないように気をつけながら、カメラの中心を軸にして回転させるように撮影方向へ動かす
- 約2秒で1/4周するくらいの早さで動かしてください。
- 揺れが大きいと撮影できなかったり、記録されるパノラマ写真が細く(小さく)なります。
- 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かしてください。
- 撮影中に表情を変えたり、まばたきなどをすると不自然に撮影される場合があります。なるべく動かないようにしてください。

例)手順 **2** で [➔] を選択した場合

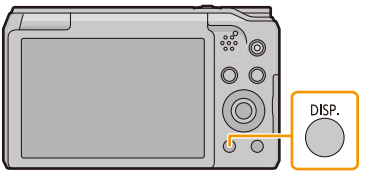


- 自分撮りモードでのパノラマ写真は、カメラと被写体との距離が近いため、画像の端の歪みが目立つ場合があります。

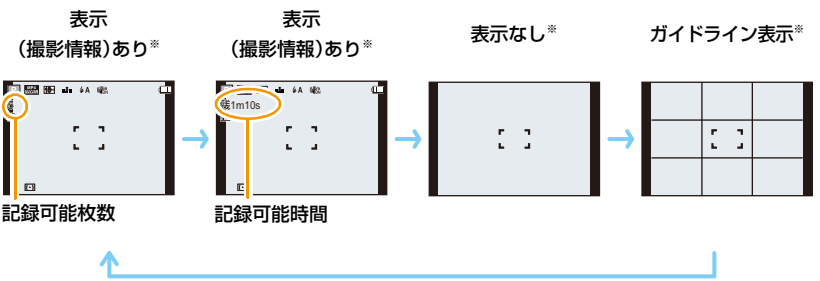
モニターの表示を切り換える

[DISP.]ボタンを押して切り換える

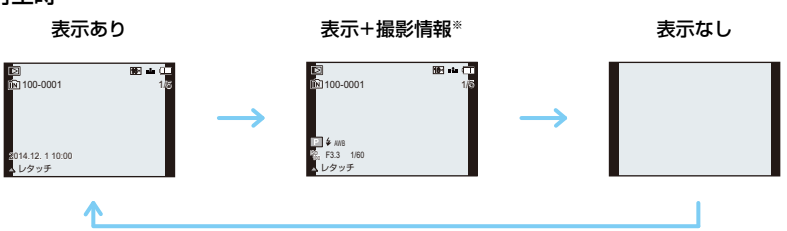
- 動画再生中、パノラマ再生中、スライドショー中は、表示ありと表示なしの切り換えになります。



撮影時



再生時



※ セットアップメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。

■ ガイドライン表示について

撮影時、バランスなど構図の参考に使います。

ズームを使って撮る

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

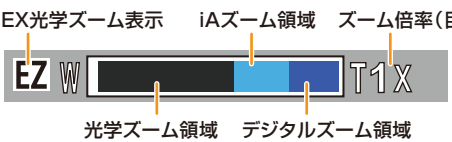
風景を広く（広角）撮ったり人や物を大きく（望遠）撮ることができます。

広く撮るには（広角）
ズームレバーをW側へ回す

大きく撮るには（望遠）
ズームレバーをT側へ回す

■ 画面表示

EX光学ズーム（EZ）、iAズームおよびデジタルズームを併用したときの表示例です。



- ズーム操作中は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。（例：0.03m—∞）

■ ズーム位置を記憶する（ズーム位置メモリー）

詳しくは、44 ページをお読みください。

- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- 動画撮影中のズーム動作については、33 ページをお読みください。

光学ズーム

画質を劣化させずに拡大します。

最大倍率：20倍

EX光学ズーム(EZ)

EZ付きの記録画素数(P79)を選ぶと働きます。画像を劣化させずに光学ズームより拡大します。

最大倍率：45倍(光学ズームの倍率を含みます。また記録画素数により変わります。)

- EZとは「Ex. Optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- 以下の場合は使えません。
  - ズームマクロ撮影時
  - シーンモードの[逆光補正HDR]、[高感度]
  - クリエイティブコントロールモードの[インプレッシブアート]、[トイフォト]
  - [連写]を[□H]に設定したとき
  - 動画撮影時

iAズーム

撮影メニューの[iAズーム](P86)を[ON]に設定すると働きます。
画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の最大2倍まで拡大できます。

- インテリジェントオートモードでは自動で働きます。
- 以下の場合は使えません。
  - ズームマクロ撮影時
  - シーンモードの[手持ち夜景]、[逆光補正HDR]、[高感度]
  - クリエイティブコントロールモードの[インプレッシブアート]、[トイフォト]
  - [連写]を[□H]に設定したとき
  - 動画撮影時

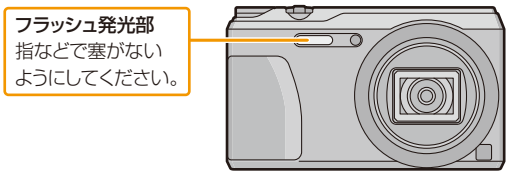
デジタルズーム

撮影メニューの[デジタルズーム](P86)を[ON]に設定すると働きます。画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大4倍まで拡大できます。

- iAズーム使用時、デジタルズームの倍率は最大2倍までになります。
- 三脚を使用し、セルフタイマー(P57)を使って撮影することをお勧めします。
- 以下の場合は使えません。
  - インテリジェントオートモード
  - シーンモードの[手持ち夜景]、[逆光補正HDR]、[高感度]
  - クリエイティブコントロールモードの[インプレッシブアート]、[トイフォト]、[ジオラマ]
  - [連写]を[□H]/[□]に設定したとき

フラッシュを使って撮る

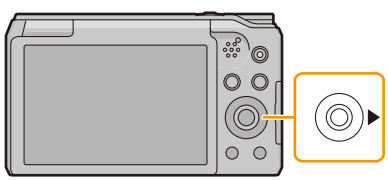
使えるモード：iA P A S M C1 C2 SCN



フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 ▶ボタン(ϟ)を押す



2 ▲/▼ボタンで設定を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

設定	内容
[ϟA](オート) [iϟA](iオート)※1	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
[ϟA◎] (赤目軽減オート)※2	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のを抑えるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときに適しています。**
[ϟ](強制発光)	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときに適しています。**
[ϟS◎] (赤目軽減スローシンクロ)※2	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象を抑えます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときに適しています。**
[⊘](発光禁止)	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときに適しています。**

※1 インテリジェントオートモードでのみ設定できます。被写体や撮影状況に応じて、アイコンが切り換わります。

※2 **フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。**
撮影メニューの[デジタル赤目補正](P89)を[ON]に設定すると、アイコンに[🖉]が表示されます。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

（○：設定可、×：設定不可、◎：シーンモード初期設定）

	ϟA	ϟA◎	ϟ	ϟS◎	⊛
iA	○※	×	×	×	○
P / A	○	○	○	○	○
S / M	○	○	○	×	○
	○	◎	○	×	○
	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	○
	×	×	×	◎	○
	○	×	○	×	◎

※［iϟA］と表示されます。

- ［iϟA］選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、［iϟA］、［iϟA◎］、［iϟS◎］、［iϟS］になります。
- ［iϟA◎］、［iϟS◎］のときは、［デジタル赤目補正］が働きます。
- ［iϟS◎］、［iϟS］のときは、シャッタースピードが遅くなります。
- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- フラッシュ設定は電源を切っても記憶されています。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

■ フラッシュ撮影可能範囲

	W端	T端
ISO感度が[AUTO]のとき	約60 cm～約6.0 m	約1.0 m～約3.1 m

■ フラッシュ設定別のシャッタースピード

フラッシュ設定	シャッタースピード
ϟA	1/60～1/2000秒
ϟA◎	
ϟ	

フラッシュ設定	シャッタースピード
ϟS◎	1または1/8～1/2000秒※
⊛	

※ [手ブレ補正]の設定によって変わります。
シャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
- [手ブレ補正]が[OFF]のとき
- [手ブレ補正]が[ON]の場合にブレの量が少ないとカメラが判断したとき

- インテリジェントオートモードでのシャッタースピードは判別されたシーンによって異なります。
- シーンモードでのシャッタースピードは上表と異なります。

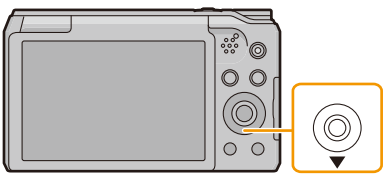
- フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。
- ズームを使わずに至近距離（W端付近）でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善されることがあります。
- 被写体に近すぎたりフラッシュが十分に届かない被写体を撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュが十分に届かない被写体を撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- 以下の場合はフラッシュの効果が十分に得られないことがあります。
  – [連写]を[▣]に設定したとき
  – シャッタースピードが速いとき
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人物が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

近づいて撮る(AFマクロ撮影/ズームマクロ撮影)

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

1 ▼ボタン(🌷)を押す



2 ▲/▼ボタンでモードを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

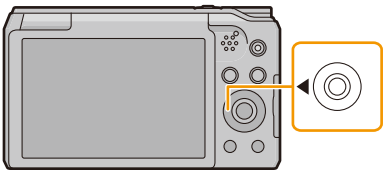
モード	内容
[AF🌷](AFマクロ)	ズームをもっとも広角(W端)にすると、レンズから3 cmまで接近して撮影できます。
[🌷](ズームマクロ)	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W端の距離(3 cm)のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影します。 ● 通常撮影時よりも画質が劣化します。 ● ズーム領域表示は青色(デジタルズーム領域)になります。
[OFF]	—

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[🚫]にすることをお勧めします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- 以下の場合、[ズームマクロ]に設定できません。
  - クリエイティブコントロールモードの[インプレッシブアート]、[トイフォト]、[ジオラマ]
  - [オートフォーカスモード]を[👥]に設定したとき
  - [連写]を[連写H]/[連写]に設定したとき

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード：iA P A S M C1 C2 SCN

1 ◀ボタン(⏲)を押す



2 ▲/▼ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

設定	内容
[⏲10](10秒)	10秒後に撮影します。
[⏲2](2秒)	2秒後に撮影します。 ● 三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
[OFF]	—

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

● セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。

● 以下の場合、セルフタイマーの設定はできません。
– 自分撮りモード
(自分撮りモードで撮影時は、[カウントダウン](P47)でセルフタイマーの設定をすることができます)
– 動画撮影時

露出を補正して撮る

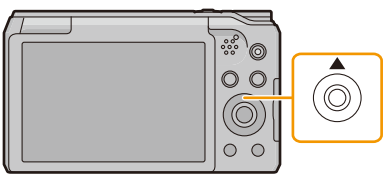
使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出をプラス方向に補正してください。

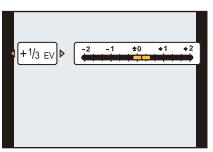
露出をマイナス方向に補正してください。

1 ▲ボタン(露出補正)を押し、[露出補正]を表示させる



2 ◀/▶ボタンで露出を補正し、[MENU/SET]ボタンを押す

- 露出補正値は、画面に表示されます。
- 露出を補正しない場合は、[0 EV]を選んでください。



- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- セットアップメニューの[露出補正リセット]が[OFF]の場合、露出補正値は電源を切っても記憶されています。
- シーンモードの[星空]では露出補正できません。

露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)

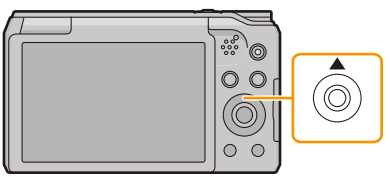
使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

1回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に3枚撮影します。

オートブラケット±1EVの場合

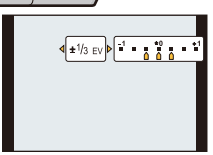
1枚目	2枚目	3枚目
±0EV	−1EV	+1EV

1 [オートブラケット]が表示されるまで、繰り返し▲ボタン()を押す



2 ◀/▶ボタンで露出の補正幅を設定し、[MENU/SET]ボタンを押す

- オートブラケット撮影をしない場合は、[OFF](±0)を選んでください。



- 電源を切ると、オートブラケットは解除されます。
- オートブラケットを設定すると、画面に[]が表示されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- **オートブラケットを設定すると、フラッシュは[]になります。**
- 以下の場合、オートブラケットの設定はできません。
  - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]、[ジオラマ]、[ソフトフォーカス]、[クロスフィルター]
  - シーンモードの[手持ち夜景]、[逆光補正HDR]、[星空]
  - 動画撮影時

絞り/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード： A S M

A： 絞り優先AEモード

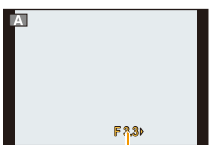
背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 モードダイヤルを [A] に合わせる

2 [EXPOSURE] ボタンを押す

3 ◀/▶ボタンで絞り値を設定する

4 [EXPOSURE] ボタンを押す



絞り値

- モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- ISO感度の設定により、設定されるシャッタースピードの下限値は異なります。
- 動画撮影時は、絞り値やシャッタースピードは自動で設定されます。

S： シャッター優先AEモード

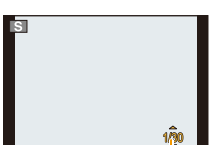
動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 モードダイヤルを [S] に合わせる

2 [EXPOSURE] ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンでシャッタースピードを設定する

4 [EXPOSURE] ボタンを押す



シャッタースピード

- モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- ISO感度の設定により、設定できるシャッタースピードの下限値は異なります。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- 動画撮影時は、絞り値やシャッタースピードは自動で設定されます。

M： マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

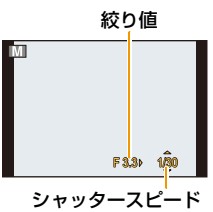
1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 [EXPOSURE] ボタンを押す

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで絞り値とシャッタースピードを設定する

◀/▶ ボタン: 絞り値

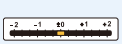
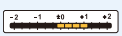
▲/▼ ボタン: シャッタースピード



4 [EXPOSURE] ボタンを押す

■ マニュアル露出アシストについて

シャッターボタンを半押しすると、マニュアル露出アシストが表示されます。

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

- モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- ISO感度の設定により、設定できるシャッタースピードの下限値は異なります。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- 動画撮影時は、絞り値やシャッタースピードは自動で設定されます。

パノラマ写真を撮る(パノラマモード)

撮影モード：

カメラを水平または垂直に動かしている間に連続撮影をして、1枚のパノラマ写真に合成します。13 種類の効果を加えて撮影することができます。

1 モードダイヤルを[]に合わせる

2 ▲/▼ボタンで撮影する方向を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで作例写真から画像効果を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- クリエイティブコントロールモードと同じ操作で、同じ画像効果を加えることができます。([トイフォト]と[ジオラマ]を除く)(P71 ～ 75)
- 画像効果を加えない場合は [効果なし]を選択してください。

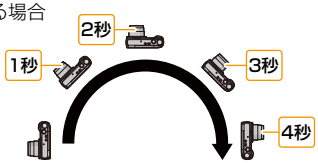
4 撮影方向を確認し、[MENU/SET]ボタンを押す

- 選んだ撮影方向が前回の撮影時と同じ場合は、撮影方向を確認する画面が表示されないことがあります。
- 水平/垂直ガイドが表示されます。▶ボタンを押すと、手順**2**に戻ります。

5 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

6 シャッターボタンを全押しし、本機を手順**2**で選択した方向へ小さな円を描くように動かして撮影する

左から右へ撮影する場合



撮影の方向と進み具合(目安)

約4秒で半周するくらいの速さで動かす

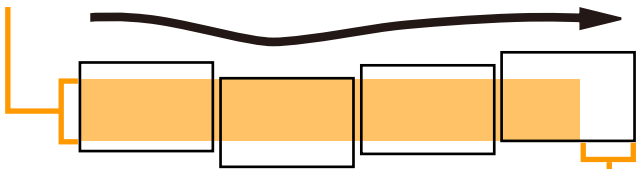
- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

7 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。

■ 撮影のテクニック

- 揺らさないように気をつけながら、撮影方向へカメラを動かす。
  (揺れが大きいと撮影できなかったり、記録されるパノラマ写真が細く(小さく)なります)



- 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。
  (最後の 1 コマは端まで記録されません)

- ズーム位置はW端に固定されます。
- [手ブレ補正]は[OFF]に固定されます。
- ピント・ホワイトバランス・露出は、1コマ目の写真に最適な値で固定されます。このため、撮影の途中でピントや明るさが極端に変わる場合、パノラマ写真全体では適切なピントや明るさで撮影されない場合があります。
- 画像効果を加えた場合、ホワイトバランスは [AWB] に固定されます。
- 複数の写真から 1 枚のパノラマ写真に合成するため、被写体がゆがんだりつなぎ目が目立つ場合があります。
- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、撮影方向や合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

撮影方向	横	縦
水平方向	3200 画素	720 画素
垂直方向	960 画素	3200 画素

- 次の被写体や撮影状況では、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
  – 単調な色や模様が続く被写体(空や砂浜など)
  – 動いている被写体(人やペット、自動車、波、風に揺れる花など)
  – 短時間で色や模様が変化する被写体(ディスプレイに映った画像など)
  – 暗い場所
  – 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

■ 再生について

▲ ◎ ▼	▲	パノラマ再生開始/一時停止※
	▼	停止

※ 一時停止中に▶/◀ボタンを押すと、コマ送り/コマ戻しができます。

撮影シーンに合わせて撮る(シーンモード)

撮影モード： SCN

被写体や撮影状況に合わせて16種類のシーンモードを選択できます。

1 モードダイヤルを[SCN]に合わせる

2 ▲/▼/◀/▶ボタンでシーンモードを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET]ボタンを押して▲/▼/◀/▶ボタンで[シーンモード]を選び、[MENU/SET]ボタンを押してください。
- シーンモードでは、カメラが自動で調整するため、[ISO感度]、[測光モード]、[iAズーム]の設定はできません。

人物

昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。

■ 撮影のテクニック

- ズームの位置はできるだけ T 側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

美肌

昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特に滑らかに撮影できます。
(胸から上を撮りたいときに効果的です)

■ 撮影のテクニック

- ズームの位置はできるだけ T 側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。

風景

広がりのある風景を撮影できます。

スポーツ

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときにお使いください。

- シャッタースピードは最大1秒になります。
- 5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。

夜景&人物

人物とともに背景も見た目に近い明るさで撮影できます。

- **フラッシュをお使いください。([ ]に設定できます)**
- 被写体の人物に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- シャッタースピードは最大4秒になります。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

夜景

夜景を鮮やかに撮影できます。

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- シャッタースピードは最大4秒になります。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

手持ち夜景

夜景を高速連写で撮影し、1枚の画像に合成します。手持ちの撮影でも手ブレやノイズが軽減されます。

- 連写中は本機を動かさないでください。
- 暗い場面で撮影したり、動いている被写体を撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

逆光補正HDR

露出の異なる写真を複数撮影して、1枚の階調豊かな画像に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。

■ HDRとは

High Dynamic Range(ハイダイナミックレンジ)の略で、幅広い明暗差を表現するための技術を表します。

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- 撮影条件によっては、複数撮影ではなく、1枚撮影になる場合があります。

料理

レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調で撮影できます。

赤ちゃん1/赤ちゃん2

赤ちゃんの肌を健康的な色で撮影します。
[赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。
これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P100)で撮影画像に焼き込むことができます。

■ 誕生日/名前を設定する

1 ▲/▼ボタンで[月齢/年齢]または[名前]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
2 ▲/▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
3 誕生日/名前を入力する

誕生日:　◀/▶ ボタン:項目(年・月・日)選択
　　▲/▼ ボタン:設定
　　[MENU/SET] ボタン:決定
名前:　文字入力の方法については、78 ページの「文字を入力する」をお読みください。

- 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。
- 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。

4 ▼ボタンで[終了]を選び、[MENU/SET]ボタンを押して終了する

■ 月齢/年齢や名前の表示を解除する

手順2で[OFF]に設定する

- 誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。
- シャッタースピードは最大1秒になります。

ペット

犬や猫などのペットを撮りたいときにお使いください。ペットの誕生日や名前を設定できます。
[月齢/年齢]、[名前]については、上記の[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。

夕焼け

夕焼けの風景を撮りたいときにお使いください。赤色を鮮やかに撮影できます。

高感度

薄暗い室内で被写体のブレを抑えて撮影できます。

■ 記録画素数設定

記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。

星空

星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。

■ シャッタースピード設定

シャッタースピードを15秒、30秒から選択します。

- シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。

- 15秒、30秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。

ガラス越し

遠くの被写体に優先してピントを合わせます。乗り物や建物の透明なガラス越しに景色などを撮影するときに最適です。

- ガラスが汚れていたり、ほこりが付いていたりすると、ガラスにピントが合う場合があります。
- ガラスの色によっては、自然な色合いにならない場合があります。そのときはホワイトバランスの設定を変更してください。(P81)

画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

撮影モード:

15種類の効果を加えて撮影することができます。加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを[ ]に合わせる

2 ▲/▼ボタンで作例写真から画像効果を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- [DISP.]ボタンを押すと、選択されている画像効果の説明が表示されます。

プレビュー表示

- クリエイティブコントロールモードを変更したい場合は、[MENU/SET]ボタンを押して▲/▼/◀/▶ボタンで[クリエイティブコントロール]を選び、[MENU/SET]ボタンを押してください。
- 選んだ効果が反映されたプレビュー表示や撮影時の画面表示は、実際に撮影した画像と異なる場合があります。
- ISO感度は[AUTO]に固定されます。
- ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は ☞ P70

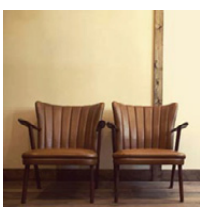
※ 画像は効果を説明するためのイメージです。

ポップ

色を強調したポップアート風の画像効果です。

レトロ

色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかい画像効果です。



オールドデイズ

光に包まれた柔らかく懐かしい雰囲気をかもし出す画像効果です。

ハイキー

全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げる画像効果です。

● パノラマモードでこの画像効果を選択した場合、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は ☞ P70

ローキー

全体的に暗く落ち着いた雰囲気で、明るい部分を引き立てる画像効果です。

セピア

セピア色の画像効果です。

ダイナミックモノクローム

コントラストを高めにし、力強いモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

インプレッシブアート

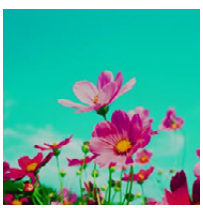
強いコントラストで、現実にはない劇的な雰囲気を描き出す画像効果です。

● パノラマモードでこの画像効果を選択した場合、写真のつなぎ目が目立つことがあります。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は ☞ P70

ハイダイナミック

暗いところから明るいところまで、全体的にバランスのよい明るさで描き出す画像効果です。



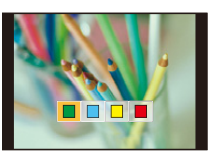
クロスプロセス

意外な発色で、独特の雰囲気に仕上げる画像効果です。

調整できる項目

色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色

- ◀/▶ボタンで発色させる色合いを選び、[MENU/SET]ボタンを押してください。



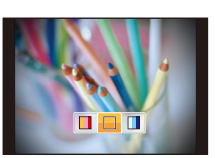
トイフォト

周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したような画像効果です。

調整できる項目

色合い	オレンジっぽい色	⇔	青っぽい色

- ◀/▶ボタンで色合いを選び、[MENU/SET]ボタンを押してください。



クリエイティブコントロールモードの設定方法は　P70

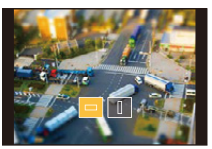
ジオラマ

周辺をぼかし、ジオラマ風に描き出す画像効果です。

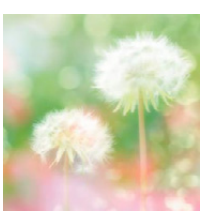
調整できる項目

ぼかす方向	横向き / 縦向き

- ◀/▶ ボタンでぼかす方向を選び、[MENU/SET]ボタンを押してください。



- 撮影画面が通常より遅れて、コマ落としのように表示されます。
- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約1/10の時間で記録されます。(10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります)
  表示される記録可能時間は約10倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- 大きい記録画素数に設定して写真撮影した場合、撮影後に画面が一定時間暗くなりますが、信号処理のためで異常ではありません。



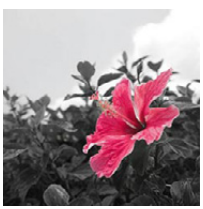
ソフトフォーカス

全体を少しぼかし、柔らかい雰囲気に仕上げる画像効果です。

クリエイティブコントロールモードの設定方法は ☞ P70

クロスフィルター

光源からの光が十字状に輝く、華やかな雰囲気を描き出す画像効果です。



ワンポイントカラー

モノクロ写真に特定の色だけを残し、印象的に強調する画像効果です。

■ 残したい色を設定する

1 **残したい色を画面中央の枠内に入れて、[MENU/SET]ボタンを押す**

- [DISP.]ボタンを押すと手順**1**に戻ります。

2 **設定した色を確認して、[MENU/SET]ボタンを押す**

- 設定した色は電源を切っても記憶されています。

- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

カスタムモードで撮る(カスタムモード)

撮影モード: C1 C2

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。
カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で4つまで登録しておくことができます。

1 **保存したい状態のモードダイヤルに合わせ、本機でメニュー設定をする**

2 **セットアップメニューから[カスタムセット登録]を選ぶ**(P38)

3 **▲/▼ボタンで登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

カスタムセット	内容
C1	モードダイヤルの[C1]に登録されます。 ● モードダイヤルを合わせるだけで撮影できますので、よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。
C2-1	モードダイヤルの[C2]に登録されます。 ● 3つまでカスタムセットを登録できますので、状況に合わせて使い分けいただけます。
C2-2	
C2-3	

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

([C1]に登録したカスタムセットを呼び出す場合)

モードダイヤルを[C1]に合わせる

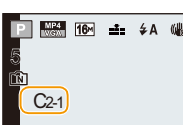
- [C1]に登録されたカスタムセットが呼び出されます。

([C2-1]/[C2-2]/[C2-3]に登録したカスタムセットを呼び出す場合)

1 モードダイヤルを[C2]に合わせる

2 ▲/▼ボタンでカスタムセットを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 選択されているカスタムセット表示が画面に出ます。



■ メニュー設定を変更する場合は

撮影モードを[C1]または[C2]に設定した状態で、一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

- 一部のメニュー項目は、他の撮影モードに反映されるため保存されません。

文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前を入力しておくことができます。
また、撮影画像に文字（コメント）を入力しておくこともできます。

右記のような画面が表示されると、文字を入力できます。
（ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます）

1 ▲/▼/◀/▶ボタンで文字を選び、[MENU/SET]ボタンで入力する

- [切換]にカーソルを合わせ[MENU/SET]ボタンを押すと、かな（ひらがな）、カナ（カタカナ）、A/a（アルファベット）、1（数字）、&（記号）に文字を切り換えることができます。
  （[DISP.]ボタンを押しても文字が切り換わります）
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、ズームレバーを[Q]（T）側に回してカーソルを移動してください。
- 項目にカーソルを合わせ、[MENU/SET]ボタンを押すと以下の操作が行えます。
  - [␣]：　空白を入力
  - [消去]：　文字を消去
  - [◀]：　入力位置を左に移動
  - [▶]：　入力位置を右に移動
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - かな/カナ：　最大15文字
  - A/a/1/&※：　最大30文字

    ※　[「]、[」]、[ー]は最大15文字

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで[決定]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]ボタンを押して入力を終了する

文字入力例

「パリ」と入力する場合：

❶ ▲/▼/◀/▶ボタンで[切換]を選ぶ
❷ カナに切り換わるまで[MENU/SET]ボタンを押す
❸ ▲/▼/◀/▶ボタンで「ハ」に移動し、[MENU/SET]ボタンを押す
❹ ▲/▼/◀/▶ボタンで「゛゜」に移動して[MENU/SET]ボタンを2回押し、「パ」にする
❺ ▲/▼/◀/▶ボタンで「ラ」に移動して[MENU/SET]ボタンを2回押し、「リ」にする
❻ ▲/▼/◀/▶ボタンで[決定]に移動し、[MENU/SET]ボタンを押す

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

撮影メニューを使う

撮影メニューの設定方法は ☞ P38

記録画素数

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

設定	記録画素数
[4:3 16M]	4608×3456
[4:3 8M EZ]※	3264×2448
[4:3 3M EZ]	2048×1536
[4:3 0.3M EZ]※	640×480
[3:2 14M]	4608×3072
[3:2 7M EZ]※	3264×2176
[3:2 2.5M EZ]	2048×1360
[16:9 12M]	4608×2592
[16:9 2M EZ]	1920×1080
[1:1 12M]	3456×3456
[1:1 2.5M EZ]	1536×1536

※ インテリジェントオートモードでは設定できません。

4:3: 4:3テレビの横縦比
3:2: 一般のフィルムカメラの横縦比
16:9: ハイビジョンテレビなどの横縦比
1:1: 正方形横縦比

- 特定のモードではEX光学ズームが使えませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。EX光学ズームが使えないモードについては、52 ページをお読みください。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。

クオリティ

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

設定	設定内容
[▲▲▲](ファイン)	画質を優先するとき
[▲▲](スタンダード)	標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき

- シーンモードの[高感度]では、[▲▲]に固定されます。
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードで設定した内容が反映されます。

撮影メニューの設定方法は　P38

ISO ISO感度

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

光に対する感度（ISO感度）を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

設定	設定内容
[AUTO]（オート）	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ● 最大[1600]
[iISO]（インテリジェントISO）	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。 ● 最大[1600]
[100]/[200]/[400]/[800]/[1600]/[3200]	それぞれのISO感度に固定します。

	[100] ⇐	⇒ [3200]
撮影場所（お勧め）	明るいとき（屋外）	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

- [AUTO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、55 ページをお読みください。
- 以下の場合、ISO感度は自動で設定されます。
  - 動画撮影時
  - [連写]を[H]/[]に設定したとき
- ISO感度の設定により、シャッタースピードは以下のように制限されます。

ISO感度	シャッタースピード
AUTO/iISO	設定するISO感度によって、自動的に変わります。
100/200/400	4秒～1/2000秒
800/1600	1秒～1/2000秒
3200	1/4秒～1/2000秒

- シャッター優先AEモード時、[iISO]は選択できません。
- マニュアル露出モード時、[AUTO]または[iISO]は選択できません。

撮影メニューの設定方法は　P38

WB ホワイトバランス

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

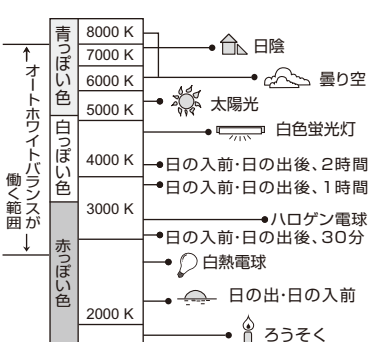
太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

設定	設定内容
[AWB](オートホワイトバランス)	自動調整
[☼](晴天)	晴天の屋外で撮影するとき
[☁](曇り)	曇りの屋外で撮影するとき
[⌂](日陰)	屋外の晴天下の日陰で撮影するとき
[☼](白熱灯)	白熱灯下で撮影するとき
[SET](セットモード)	[SET]で設定した値を使用
[SET](セットモード設定)	手動で設定

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[SET]をご使用ください。
- シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります。
- 以下の場合、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
  – シーンモードの[風景]/[夜景&人物]/[夜景]/[手持ち夜景]/[料理]/[夕焼け]/[星空]

■ オートホワイトバランスについて

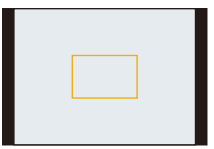
撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かないことがあります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。



撮影メニューの設定方法は　P38

手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。



1 **[SET]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

2 **白い紙など白いものだけを枠内に映し、[MENU/SET]ボタンを押す**

- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適正な明るさに調整して、再度設定してください。
- 設定後はメニューを終了してください。

ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- ホワイトバランスを[☼]/[☁]/[⌂]/[☼]/[SET]に設定時のみ、微調整することができます。

1 **微調整するホワイトバランスを選び、[DISP.]ボタンを押して[WB微調整]を表示させる**

2 **◀/▶ボタンでホワイトバランスを調整する**

◀ボタン：赤（青みが強い場合）
▶ボタン：青（赤みが強い場合）

- ホワイトバランス微調整をしない場合は、“0”を選んでください。

3 **[MENU/SET]ボタンを押して終了する**

- ホワイトバランスを微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが、赤または青に変わります。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- [SET]で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、[SET]の微調整レベルは“0”に戻ります。

撮影メニューの設定方法は　P38

オートフォーカスモード

使えるモード： P A S M C1 C2 SCN

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

設定	設定内容
[顔認識]	人の顔を自動的に検知します。（最大12人） 認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
[追尾AF]※	指定した被写体にピントを合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。（動体追尾）
[21点]※	AFエリアごとに最大21点までピントを合わせることができます。 被写体が中央にない場合に有効です。 （AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります）
[1点]	中央のAFエリア内にピントを合わせます。
[スポット]※	限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。

※ 動画撮影中は[1点]になります。

- 以下の場合は、[顔認識]に固定されます。
  - 自分撮りモード
    （[顔認識]に設定できない撮影モードの場合は、各撮影モードの設定に従います）
- 以下の場合は、[1点]に固定されます。
  - シーンモードの[星空]
  - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
- 以下の場合は、[顔認識]に設定できません。
  - パノラマモード（自分撮りモード時を除く）
  - シーンモードの[夜景]、[手持ち夜景]、[料理]
  - クリエイティブコントロールモードの[ソフトフォーカス]
- 以下の場合、[追尾AF]に設定できません。
  - パノラマモード
  - クリエイティブコントロールモードの[セピア]、[ダイナミックモノクローム]、[ハイダイナミック]、[ソフトフォーカス]

撮影メニューの設定方法は　P38

■ [顔認識]について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリアが表示されます。
黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。
白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にピントが合います。

- [測光モード]を[⊡]に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。
- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[▦]（動画撮影時は[■]）に切り換わります。
  - 顔が正面を向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラスなどで隠れている/小さく写っている
  - 顔の陰影が少ない
  - 被写体が人物以外である
  - デジタルズーム使用時
  - 動きが速い
  - 手ブレしている
- カメラが誤って人物以外を顔と認識した場合は、[]以外の設定に変更してください。

■ [追尾AF]を設定する

被写体を追尾AFエリアに合わせ、▼ボタンを押して被写体をロックする

- 被写体を認識すると、AFエリアが黄色で表示され、被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントを合わせます。（動体追尾）
- もう一度▼ボタンを押すと、ロックは解除されます。

- 以下の場合は、動体追尾機能が働かないことがあります。
  - 被写体が小さすぎる
  - 被写体の動きが速い
  - 手ブレしている
  - 撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
  - 類似した色の他の被写体や背景があるとき
  - ズーム使用時
- ロックに失敗したときは、追尾AFエリアが赤くなったあと消えます。もう一度▼ボタンを押してください。
- ロックや動体追尾が働かないときは、[オートフォーカスモード]は[■]で撮影されます。
- 一度撮影するとロックは解除されます。撮影ごとに追尾AFを設定してください。

撮影メニューの設定方法は　P38

[•]測光モード

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

設定	設定内容
[[•]]（マルチ測光）	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
[[ ]]（中央重点）	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
[•]（スポット）	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット

i◑暗部補正

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。

設定：[ON]、[OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。

撮影メニューの設定方法は　P38

iA ZOOM iAズーム

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

画質の劣化を抑えつつズーム倍率を上げることができます。

設定：[ON]、[OFF]

● 詳しくは、52 ページをお読みください。

デジタルズーム

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

光学ズーム、EX光学ズーム、またはiAズームよりも、さらに拡大することができます。

設定：[ON]、[OFF]

● 詳しくは、52 ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法は　P38

連写

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

設定・連写速度	設定内容	最大連写コマ数
[AF] （約2コマ/秒AF追従）	● 撮影ごとにピントを調整して連写します。 ● 連写速度は、撮影条件によって変化します。	100コマ※
[10] （約10コマ/秒AF固定）	● ピント、露出、ホワイトバランスは1コマ目に固定されます。	10コマ
[H]（高速連写）	連写速度：約10コマ/秒 ● プログラムAEモード、絞り優先AEモード、シャッター優先AEモードでのみ設定できます。 ● 記録画素数は3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9）、2.5M（1:1）に固定されます。 ● 連写速度は、撮影条件によって変化します。 ● 書き込み速度の速いカードを使用したり、カードをフォーマットしたりすると、連写コマ数が増加する場合があります。 ● ピント、ズーム、露出、ホワイトバランス、シャッタースピード、ISO感度は、1コマ目の設定に固定されます。 ● [ISO感度]は自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。	200コマ※
[⚡]（フラッシュ連写）	● フラッシュを発光しながら連写します。 ● プログラムAEモード、絞り優先AEモード、シャッター優先AEモードでのみ設定できます。 ● ピント、ズーム、露出、シャッタースピード、ISO感度、フラッシュ発光量は、1コマ目の設定に固定されます。 ● **フラッシュは[⚡]になります。**	5コマ
[OFF]（連写オフ）	—	—

※ 連写コマ数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。

撮影メニューの設定方法は　P38

- **撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。**
- **連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写するときは、高速タイプのカードのご利用をお勧めします。**
- **暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ/秒）が遅くなることがあります。**
- [2AF]設定時は、連写速度を優先するため、可能な範囲でのピント予測を行います。そのため、高速で動く被写体を追いながら撮影した場合、ピントが合いにくかったり、またピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- [10]設定時は、被写体の明るさの変化によっては、2枚目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
- 以下の場合、連写はできません。
  - オートブラケット撮影時
  - 自分撮りモード
  - シーンモードの[手持ち夜景]、[逆光補正HDR]、[星空]
  - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]、[ジオラマ]、[ソフトフォーカス]、[クロスフィルター]
- セルフタイマーを使用するときの連写コマ数は3コマ([]設定時は5コマ)に固定されます。
- **フラッシュは[]になります。([]を除く)**

AF☼ AF補助光

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

暗い場所で撮影するとき、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。(撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます)

設定：[ON]、[OFF]

- 補助光の有効距離は約 1.5 mです。
- ズームや被写体の状態によっては、有効距離が短くなる場合があります。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- シーンモードの[風景]、[夜景]、[手持ち夜景]、[夕焼け]、[ガラス越し]では、AF補助光は[OFF]に固定されます。

撮影メニューの設定方法は　P38

デジタル赤目補正

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

赤目軽減（[⚡AO]、[⚡SO]）選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

設定：[ON]、[OFF]

- カメラが顔と認識した場合のみ働きます。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

手ブレ補正

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

動画撮影時はアクティブモード（動画用手ブレ補正）が自動的に働きます。歩きながら動画を撮影するときなど、大きな揺れに対してブレにくくします。

設定：[ON]、[OFF]

- 動画撮影時またはシーンモードの[手持ち夜景]では、[ON]に固定されます。
- シーンモードの[星空]では、手ブレ補正は[OFF]に固定されます。
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
  - 手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  - デジタルズーム領域
  - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- アクティブモードはW端時、より強い補正効果が得られます。
- [画質設定]を[VGA]に設定して動画撮影する場合、アクティブモードは働きません。

撮影メニューの設定方法は　P38

日付焼き込み

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

撮影日時入りの写真を撮影できます。

設定	設定内容
[日付]	年月日を焼き込みます。
[日時]	年月日時分を焼き込みます。
[OFF]	—

- **[日付焼き込み]を設定して撮影した写真の日付情報は、消すことができません。**
- **日付焼き込みされた写真をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。**
- 時計設定を行っていないと、日付情報を焼き込むことができません。
- 0.3Mの画像に日付焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、日付焼き込みは [OFF] に固定されます。
  - 動画撮影時
  - オートブラケット撮影時
  - [連写]撮影時
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードで設定した内容が反映されます。
- [日付焼き込み]を[OFF]にして撮影しても、[文字焼き込み](P100)を使って撮影画像に日付を焼き込んだり、日付プリント(P106、147)を設定することができます。

自分撮り

使えるモード： iA P A S M C1 C2 SCN

自分撮りモードで撮影するときの美肌効果や撮影枚数などを設定します。

設定	設定内容
[ON]	モニターを回転させると、自分撮りモードになります。
[OFF]	—
[設定]	[美肌効果]/[撮影枚数]/[カウントダウン]の設定を変更します。

- 詳しくは、47 ページをお読みください。

動画メニューを使う

動画メニューの設定方法は P38

- 以下の場合、動画メニューは表示されません。
  – クリエイティブコントロールモードの[ソフトフォーカス]、[クロスフィルター]

画質設定

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN

記録する動画の画質を設定します。

設定	サイズ	フレームレート	ビットレート	画像横縦比
[FHD]	1920×1080	30p	約20 Mbps	16:9
[HD]	1280×720		約10 Mbps	
[VGA]	640×480		約4 Mbps	4:3

- 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間当たりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- 以下の場合は、[VGA]に固定されます。
  – 内蔵メモリーに記録するとき
  – クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]

C-AF AF連続動作

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN

一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。

設定: [ON]、[OFF]

- 動画撮影開始時のピント位置で固定したい場合は、[OFF]に設定してください。
- シーンモードの[星空]では[OFF]に固定されます。

風音低減

使えるモード: iA P A S M C1 C2 SCN

音声記録時の風雑音を記録しにくくします。

設定: [ON]、[OFF]

- 風音低減を設定しているときは、通常と音質が異なる場合があります。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、[OFF]に固定されます。

いろいろな再生方法

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 **[▶]ボタンを押す**

2 **[MENU/SET]ボタンを押す**

3 **▲/▼/◀/▶ボタンで[再生モード]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

4 **▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

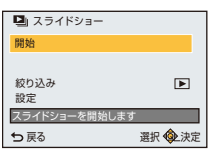
- 以下の項目を選択できます。

[▶](通常再生)(P35)	[🔍▶](絞り込み再生)(P94)
[🎞](スライドショー)(P92)	[📅](カレンダー検索)(P96)

スライドショー

撮影した画像を一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみなどに絞り込んでスライドショー再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

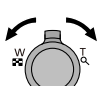
▲/▼ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



■ スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ボタンに対応しています。

▲	再生/一時停止
▼	停止
◀	前の画像へ(一時停止中)
▶	次の画像へ(一時停止中)

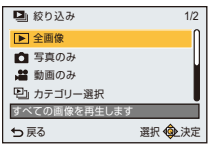


[W]	音量下げる
[T]	音量上げる

再生モードの設定方法は P92

■ 画像を絞り込んでスライドショー再生する

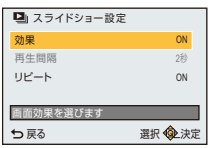
スライドショーのメニュー画面で[絞り込み]を選ぶと、画像を絞り込んでスライドショー再生することができます。



- [全画像]を選ぶと、全画像をスライドショー再生することができます。
  また、[絞り込み再生]と同じ設定で画像を絞り込むこともできます。
  設定については、94～95 ページをお読みください。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の効果や再生間隔などの設定を変更することができます。



設定	設定内容
[効果]	画像が切り換わる際に画面効果を加えることができます。 [ON]、[OFF] ● [絞り込み]を[動画のみ]に設定しているとき、[効果]の設定は無効になります。
[再生間隔]	[1秒]、[2秒]、[3秒]、[5秒] ● [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。 ● 以下をスライドショー再生しているとき、[再生間隔]の設定は無効になります。 – 動画 – パノラマ写真
[リピート]	[ON]、[OFF]

再生モードの設定方法は ☞ P92

絞り込み再生

カテゴリーごとや、撮影した日付ごとに画像を分類して再生します。

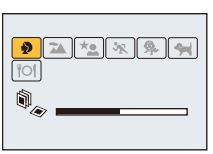
設定	設定内容
[写真のみ]	写真のみを再生します。
[動画のみ]	動画のみを再生します。
[カテゴリー選択]	シーンモードなどのカテゴリー（人物·風景·夜景など）を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。
[日付選択]	撮影した日付ごとに画像を再生することができます。

- 電源を切る、または撮影モードに切り換えると、絞り込みを解除できます。

カテゴリーごとに分類して再生する

1 ▲/▼ボタンで[カテゴリー選択]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- 画像が見つかったカテゴリーのみ再生できます。



カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
	人物、i人物、美肌、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん
	パノラマモード、風景、i風景、夕焼け、i夕焼け、ガラス越し
	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、手持ち夜景、i手持ち夜景、星空
	スポーツ

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
	赤ちゃん
	ペット
	料理

- カレンダー検索すると、カテゴリーごとの分類は解除されます。

再生モードの設定方法は P92

撮影日ごとに分類して再生する

1 ▲/▼ボタンで[日付選択]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ▲/▼/◄/►ボタンで再生する日付を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 撮影した画像がない月は表示されません。

- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2014年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生モードの設定方法は P92

カレンダー検索

撮影した日付から画像を検索することができます。

1 ▲/▼/◄/► ボタンで検索する日付を選ぶ

2 [MENU/SET] ボタンを押して、画像を一覧表示する

- マルチ再生（30画面）で表示されます。選択した日付の先頭の画像にカーソルが当たります。

3 ▲/▼/◄/► ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 検索を続けたい場合は、ズームレバーをW側に回し、前の画面に戻ってください。(P36)

- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定] を行わずに撮影した場合、2014年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム] で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

撮影した写真で楽しむ(クリエイティブレタッチ)

撮影した写真にお好みの効果を加えることができます。

- 加工した写真は新しく作成されますので、内蔵メモリーまたはカードの容量に余裕があることを確認してください。また、カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると、加工できません。
- 写真によっては、効果が分かりにくい場合があります。

1 ◀/▶ボタンで写真を選び、▲ボタンを押す

2 ▲/▼ボタンで作例写真から画像効果を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果を加えることができます。(P71 ～ 75)
- [DISP.]ボタンを押すと、選択されている画像効果の説明が表示されます。
- [ワンポイントカラー]で残したい色を設定する場合は、▲/▼/◀/▶ボタンで画面中央の枠を動かして残したい色に合わせ、[MENU/SET]ボタンを押してください。
- [効果なし]を選ぶと効果を加えていない画像が表示されます。レタッチの操作を進めるには、他の画像効果を選んでください。
  画像効果を加えない場合はメニューを終了してください。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

■ 再生メニューから[クリエイティブレタッチ]を選ぶ場合

1. 再生メニューから[クリエイティブレタッチ]を選ぶ(P38)
2. ◀/▶ボタンで写真を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
3. ▲/▼ボタンで作例写真から画像効果を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
   - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

- クリエイティブコントロールモードに比べて効果が弱い場合があります。
- プレビュー表示とレタッチ後の画像とでは、効果の度合いが異なる場合があります。
- 以下の画像には加工できません。
  – 動画
  – パノラマモードで撮影された写真

再生メニューを使う

再生メニューの設定方法は P38

撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定などができます。

- [クリエイティブレタッチ]、[文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]または[トリミング(切抜き)]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをお勧めします。
- 本機で撮影、編集した画像は、他機では正しく再生されない場合や、効果が反映されない場合があります。また、他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

位置情報記録

スマートフォン/タブレットで取得した位置情報(緯度·経度)を本機に送信して、画像に位置情報を書き込むことができます。

- 内蔵メモリーに記録した写真には位置情報を書き込むことができません。内蔵メモリーの画像はカードにコピーしてから [位置情報記録] をしてください。

準備: スマートフォン/タブレットから本機に位置情報を送信する(P118)

1 ◄/► ボタンで画像を選ぶ

2 再生メニューから [位置情報記録] を選ぶ

3 ▲/▼ ボタンで [位置情報データ付与] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで位置情報を書き込む期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

■ 位置情報の書き込みを中断する

位置情報の書き込み中に [MENU/SET] ボタンを押す

- 中断した期間には [〇] が表示されます。
  [〇] が表示された期間を再度選択すると、位置情報の書き込みを続きから開始します。

■ 受信した位置情報を消去する

1 再生メニューから [位置情報記録] を選ぶ

2 ▲/▼ ボタンで [位置情報データ消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで位置情報を消去する期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- 本機で撮影された画像にのみ、位置情報を書き込むことができます。
- カードの空き容量が不足している場合は、位置情報を書き込めない場合があります。
- 以下の場合、位置情報は書き込まれません。
  – 「位置情報データ送信」(P118)後に撮影した画像
  – 動画

再生メニューの設定方法は P38

タイトル入力

撮影画像に文字（コメント）を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み]（P100）で撮影画像に焼き込むことができます。

1 再生メニューから[タイトル入力]を選ぶ

2 ▲/▼ボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 画像を選び、[MENU/SET]ボタンで設定する

[1枚設定]

[複数設定]

- すでにタイトルが入力されている画像には [✎] が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISP.]ボタンを押して設定（繰り返す）し、[MENU/SET]ボタンを押して決定する

- もう一度[DISP.]ボタンを押すと設定が解除されます。

4 文字を入力する（P78）

- 設定後はメニューを終了してください。

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 以下の場合、タイトル入力できません。
  – 動画

再生メニューの設定方法は P38

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時や名前を焼き込むことができます。

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼ボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 画像を選び、[MENU/SET]ボタンで設定する

[1枚設定] [複数設定]

- すでに日付/文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISP.]ボタンを押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]ボタンを押して決定する

- もう一度[DISP.]ボタンを押すと設定が解除されます。

4 ▲/▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

5 ▲/▼ボタンで焼き込む項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

6 ▲/▼ボタンで設定を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容
[撮影日時]	[日付]: 年月日を焼き込みます。 [日時]: 年月日時分を焼き込みます。 [OFF]
[名前]	[/]: シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。 [OFF]
[タイトル]	[ON]: [タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。 [OFF]

再生メニューの設定方法は ☞ P38

7 [🗑/↩]ボタンを押す

8 ▲ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 3Mより大きい画像に文字焼き込みを行う場合、記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)に固定されます。
- 0.3Mの画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  – 動画
  – パノラマモードで撮影された写真
  – 時計を設定せずに撮影された画像
  – 日付/文字焼き込みされた画像

クリエイティブレタッチ

撮影した写真に[クリエイティブレタッチ]の効果を加えることができます。

- 詳しくは、97 ページをお読みください。

再生メニューの設定方法は P38

動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。

分割すると、元に戻すことができません。

1 再生メニューから[動画分割]を選ぶ

2 ◀/▶ボタンで分割編集したい動画を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 分割したい位置で▲ボタンを押す

- もう一度▲ボタンを押すと、続きから動画が再生されます。
- 一時停止中に◀/▶ボタンを押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 ▼ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。

- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- 分割すると画像の順番が変わります。[カレンダー検索]や[絞り込み再生]の[動画のみ]で検索することをお勧めします。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。
- 分割する動画によっては、分割処理に撮影時間と同じぐらい時間がかかる場合があります。
  動画を分割する際は、十分に充電されたバッテリーの使用、またはACアダプター(付属)で給電することをお勧めします。
- カードの空き容量が不足している場合は、分割できないことがあります。
  分割する動画のファイルサイズと同じ程度(目安)の空き容量があることを確認してから分割を行うことをお勧めします。

再生メニューの設定方法は P38

リサイズ（縮小） 画像サイズ（画素数）を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量（記録画素数）を小さくします。

1 再生メニューから［リサイズ（縮小）］を選ぶ

2 ▲/▼ボタンで［1枚設定］または［複数設定］を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 画像、サイズを選ぶ

［1枚設定］選択時

1 ◄/►ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ◄/►ボタンでサイズを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

［複数設定］選択時

1 ▲/▼ボタンでサイズを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ▲/▼/◄/►ボタンで画像を選び、[DISP.]ボタンを押す

- この手順を繰り返し、[MENU/SET]ボタンを押して決定します。

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

- ［複数設定］で一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズ（縮小）を行うと画質が粗くなります。
- 以下の画像はリサイズ（縮小）できません。
  – 動画
  – パノラマモードで撮影された写真
  – 日付/文字焼き込みされた画像

再生メニューの設定方法は P38

トリミング（切抜き） 画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから［トリミング（切抜き）］を選ぶ

2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

3 ズームレバーと▲/▼/◀/▶ ボタンで切り抜く部分を選ぶ

ズームレバー（W）：縮小

ズームレバー（T）：拡大

▲/▼/◀/▶ ボタン：移動

4 ［MENU/SET］ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

- トリミング（切抜き）を行うと画質が粗くなります。
- 画素数が小さい画像はトリミング（切抜き）できない場合があります。
- 以下の画像はトリミング（切抜き）できません。
  – 動画
  – パノラマモードで撮影された写真
  – 日付/文字焼き込みされた画像

再生メニューの設定方法は P38

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P108)してから[プリント設定]の設定をしてください。

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 ▲/▼ボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

[1枚設定]

[複数設定]

4 ▲/▼ボタンでプリント枚数を設定し、[MENU/SET]ボタンで決定する

- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。(一括設定することはできません)
- 設定後はメニューを終了してください。

■ [プリント設定]を全解除する

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 ▲/▼ボタンで[全解除]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

再生メニューの設定方法は P38

■ 日付をプリントする

プリント枚数を設定するとき、[DISP.]ボタンを押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 日付/文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

- プリント枚数は999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- 以下の画像はプリント設定できません。
  – 動画
  – DCF規格に準拠していないファイル

再生メニューの設定方法は P38

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像を保護することができます。

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼ボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 画像を選び、[MENU/SET]ボタンで設定する

- もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[1枚設定]

[複数設定]

■ [プロテクト]設定を全解除する

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼ボタンで[全解除]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。

再生メニューの設定方法は P38

コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 再生メニューから[コピー]を選ぶ

2 ▲/▼ボタンで画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

[IN→SD](IN→SD)：内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。

[SD→IN](SD→IN)：カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。
◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押してください。

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- コピー中は電源を切らないでください。

- [SD→IN]では、同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- [プリント設定]または[プロテクト]設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。

Wi-Fi®機能について

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

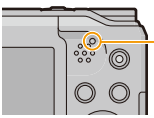
■ 国内線の航空機内では、Wi-Fi の使用が禁止されています

本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内や病院などに本機を持ち込む際は[機内モード]を[ON]に設定のうえ、本機の電源を切ってください。(P41)

■ ご使用の前に

- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11gまたはIEEE802.11n対応のものをご使用ください。
- 本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
  バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブル(別売)接続時の再生モードでは、Wi-Fi接続できません。[Wi-Fi]ボタンでの操作も無効になります。

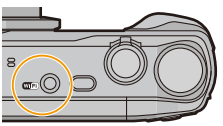
■ Wi-Fi 接続ランプの表示について



Wi-Fi接続ランプ
青色点灯：Wi-Fi接続の待機中
青色点滅：Wi-Fi接続の送受信中

■ [Wi-Fi] ボタンについて

Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを長めに押す（スマートフォン/タブレットと接続時）



- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報（QRコード、SSID、パスワード）が表示されます。(P113)

Wi-Fi 接続前に [Wi-Fi] ボタンを押す

- 以下の項目を選択できます。

[新規に接続](P113)
[履歴から接続](P134)
[お気に入り接続](P134)
[Wi-Fi 設定](P138)

Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押す

- 以下の項目を選択できます。

[接続を終わる]	Wi-Fi接続を終了します。
[接続先を変える]	Wi-Fi接続を終了し、新たに Wi-Fi 接続を選択します。
[画像の送信設定を変える]	詳しくは 137 ページをお読みください。
[今の接続先をお気に入りに入れる]	現在の接続先や接続方法を登録して、次回簡単に同じ接続設定で接続することができます。
[ネットワークアドレス表示]	本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。

- **通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。**
- 通信中にモニターの表示が一瞬乱れることがありますが、送信される画像に影響はありません。

Wi-Fi 機能でできること

スマートフォン/タブレットとつないで使う

スマートフォンでリモート撮影する(P117)

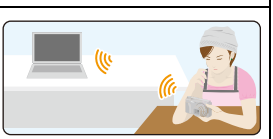
カメラの画像を再生する(P117)
カメラの画像を保存する(P118)

取得した位置情報をカメラに送信する(P118)

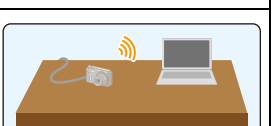
パソコンに画像を送る

撮るたびに画像を送る(P124)

選んで画像を送る(P125)



画像を自動で転送する(P126)



- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

スマートフォン/タブレットを使って、カメラで撮影したり、画像を保存したりできます。
お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。

スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

- **対応OS(2014年1月現在)**
  Android™向けアプリ　:Android 2.3.3以上
  iOS向けアプリ　:iOS 5.0以上

1 **スマートフォン/タブレットをネットワークに接続する**

2 **(Android)「Google Play™ストア」を選ぶ**
(iOS)　「App Store℠」を選ぶ

3 **検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する**

4 **「Panasonic Image App」を選び、インストールする**

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSや「Image App」のバージョンによって、本書に記載している画面や内容と一部異なる場合があります。
- お使いのスマートフォン/タブレットによっては、正しく動作しない場合があります。
- Image Appの最新情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

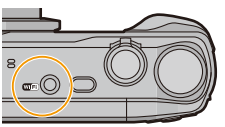
スマートフォン/タブレットと接続する

[Wi-Fi]ボタンを長めに押すことで、簡単に接続ができます。

準備：

- 「Image App」をインストールしておく(P112)

1 [Wi-Fi]ボタンを長めに押す

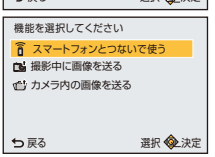


- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報(QR コード、SSID、パスワード)が表示されます。
- 接続方法を切り換えたい場合は、[DISP.]ボタンを押して接続方法を選んでください。
- 電源を切っているときに[Wi-Fi]ボタンを長押しすると、電源を入れることができます。
- 以下のメニューを選ぶことで、同じ画面を表示できます。

❶ [Wi-Fi]ボタンを押す

❷ ▲/▼/◀/▶ボタンで[新規に接続]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

❸ ▲/▼ボタンで[スマートフォンとつないで使う]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



2 スマートフォン/タブレットを操作する

- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の画像が表示されます。
  （操作後、接続が完了するまでにしばらくかかる場合があります）
- お使いのスマートフォン / タブレットによって接続方法が異なります。

iOS端末をお使いの場合

QRコードを読み取って接続する場合

（再接続する場合は手順❶～❺は不要です）

❶「Image App」(P112)を起動する

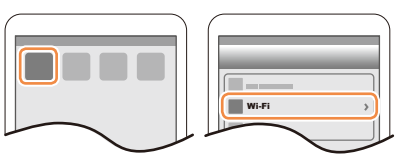
❷ [QRコード]を選び、[OK]を選ぶ

❸ 本機の画面に表示されているQR コードを「Image App」で読み取る

❹「IMAGE APP」のプロファイルをインストールする
[インストール] ※を選び、[インストール] ※→ [完了] ※を選んでください。
- ブラウザにメッセージが表示されます。
- スマートフォンのロック解除のパスコードを設定されている場合は、パスコードの入力が必要です。

❺ ホームボタンを押してブラウザを終了する

❻ [設定]※の[Wi-Fi]を選ぶ



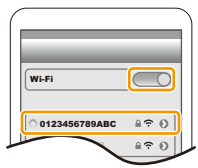
❼ [Wi-Fi]をオンにして、本機の画面に表示されているSSIDを選ぶ

❽ ホームに戻り、「Image App」(P112)を起動する

※ お使いの言語設定によって表示が異なります。

SSIDとパスワードで接続する場合

❶ [設定]※の[Wi-Fi]を選ぶ
❷ [Wi-Fi]をオンにして、本機の画面に表示されているSSIDを選ぶ



❸ 本機の画面に表示されているパスワードを入力する（初回接続時のみ）
❹ 「Image App」(P112)を起動する

※ お使いの言語設定によって表示が異なります。

Android端末をお使いの場合

QRコードを読み取って接続する場合

❶ 「Image App」(P112)を起動する

❷ [QRコード]を選ぶ
❸ 本機の画面に表示されているQRコードを「Image App」で読み取る

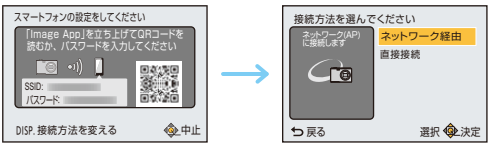
SSIDとパスワードで接続する場合

❶ 「Image App」(P112)を起動する
❷ [Wi-Fi]を選ぶ
❸ 本機の画面に表示されているSSIDを選ぶ

❹ 本機の画面に表示されているパスワードを入力する（初回接続時のみ）
● パスワードを表示する項目にチェックを入れると、入力中のパスワードを確認できます。

■ 接続方法を変える

接続方法を切り換えたい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。



[ネットワーク経由]で接続する場合

（カメラ側）

1 ▲/▼ボタンで[ネットワーク経由]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 131 ページの接続方法に従って、本機を無線アクセスポイントに接続してください。

（スマートフォン/タブレット側）

2 Wi-Fi機能をONにする

3 本機を接続した無線アクセスポイントに接続する

4 「Image App」を起動する(P112)

[直接接続]の[WPS 接続]※で接続する場合

（カメラ側）

1 ▲/▼ボタンで[直接接続]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 133 ページの接続方法に従って、本機をスマートフォン/タブレットに接続してください。

（スマートフォン/タブレット側）

2 「Image App」を起動する(P112)

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いのスマートフォン/タブレットが対応しているかどうかは、スマートフォン/タブレットの説明書をご覧ください。

■ 接続を終了する

使用後はスマートフォン/タブレットとの接続を終了してください。接続を解除すると、本機で通常の撮影や再生ができるようになります。

1 [🗑/⮌]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

2 スマートフォン/タブレットで「Image App」を終了する

（iOS端末をお使いの場合）
「Image App」の画面でホームボタンを押してアプリを終了する

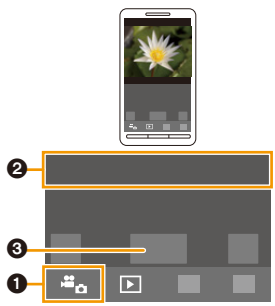
（Android端末をお使いの場合）
「Image App」の画面で戻るボタンを2回押してアプリを終了する

スマートフォン/タブレットで撮影する(リモート撮影)

1 スマートフォン/タブレットと接続する(P113)

2 スマートフォン/タブレットを操作する

❶ [ ]を選ぶ
❷ ズームを操作して構図を決める
❸ シャッターを切る
- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 動画は撮影できません。
- 設定など一部利用できないものがあります。



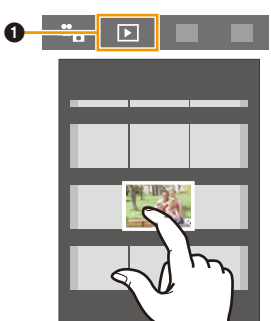
カメラの画像を再生する

1 スマートフォン/タブレットと接続する(P113)

2 スマートフォン/タブレットを操作する

❶ [ ]を選ぶ
- カメラの画像がスマートフォンに表示されます。

❷ 画像をタッチして拡大する
- 動画は再生できません。

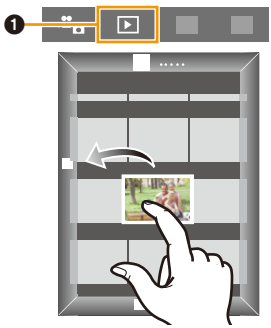


カメラの画像を保存する

1 スマートフォン/タブレットと接続する(P113)

2 スマートフォン/タブレットを操作する

❶ [▶]を選ぶ
❷ 画像を長押ししてドラッグし、スマートフォン/タブレットに保存する



スマートフォン/タブレットからカメラに位置情報を送信する

スマートフォン/タブレットから位置情報を取得して、あとから画像に書き込むことができます。

- スマートフォン/タブレットでの位置情報の取得や送信について、詳しい操作方法は「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- スマートフォン/タブレットから受信した位置情報は、本機の再生メニューの[位置情報記録]を使って、撮影した画像に書き込むことができます。(P98)

- **使用上のお願い:**
  本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 「時刻同期」後に本機またはスマートフォン/タブレットの時刻を変更した場合は、再度「時刻同期」をしてください。
- スマートフォン/タブレットで位置情報の取得間隔の設定と位置情報の送信状況の確認ができます。詳しくは「Image App」のメニューの中のヘルプをお読みください。
- (iOS向けの「Image App」をお使いの場合)
  「位置情報の記録」をオンに設定しているとき、スマートフォン/タブレットのホームボタンまたはオン/オフボタンを押すと、位置情報の記録が中止されます。
- 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近で、スマートフォン/タブレットの位置情報取得機能が働かない場合があります。(2014 年 1 月現在)

カメラを操作してスマートフォン/タブレットに画像を送る

■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	MP4
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	○	×
選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る])	○	○

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、136 ページをお読みください。

準備:

- 「Image App」をインストールしておく(P112)

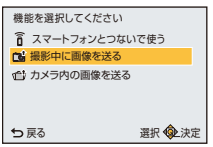
以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) P120

選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る]) P121

撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

1 [Wi-Fi] ボタンを押す
2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [新規に接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
3 ▲/▼ ボタンで [撮影中に画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



4 ▲/▼ ボタンで [スマートフォン] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
5 ▲/▼ ボタンで [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[ネットワーク経由] で接続する場合

（カメラ側）

❶ 本機を無線アクセスポイントに接続する（P131）

（スマートフォン/タブレット側）

❷ Wi-Fi機能をONにする
❸ 本機を接続した無線アクセスポイントに接続する
❹「Image App」を起動する（P112）

[直接接続] の [WPS 接続] ※ で接続する場合

（カメラ側）

❶ 本機をスマートフォン/タブレットに接続する（P133）

（スマートフォン/タブレット側）

❷「Image App」を起動する（P112）

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いのスマートフォン/タブレットが対応しているかどうかは、スマートフォン/タブレットの説明書をご覧ください。

[直接接続] の [手動接続] で接続する場合

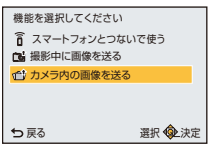
- 接続方法について詳しくは、114、115 ページをお読みください。

6 ▲/▼ ボタンで接続したい機器を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合、[DISP.] ボタンを押してください。（P137）

7 写真を撮る
- 撮影後、自動的に写真が送信されます。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。（P110）

選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

1 [Wi-Fi] ボタンを押す
2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [新規に接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
3 ▲/▼ ボタンで [カメラ内の画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



4 ▲/▼ ボタンで [スマートフォン] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
5 ▲/▼ ボタンで [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[ネットワーク経由] で接続する場合

（カメラ側）

❶ 本機を無線アクセスポイントに接続する（P131）

（スマートフォン/タブレット側）

❷ Wi-Fi機能をONにする
❸ 本機を接続した無線アクセスポイントに接続する
❹「Image App」を起動する（P112）

[直接接続] の [WPS 接続] ※ で接続する場合

（カメラ側）

❶ 本機をスマートフォン / タブレットに接続する（P133）

（スマートフォン/タブレット側）

❷「Image App」を起動する（P112）

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いのスマートフォン/タブレットが対応しているかどうかは、スマートフォン/タブレットの説明書をご覧ください。

[直接接続] の [手動接続] で接続する場合

- 接続方法について詳しくは、114、115 ページをお読みください。

6 ▲/▼ ボタンで接続したい機器を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合、[DISP.] ボタンを押してください。（P137）

7 ▲/▼ボタンで［1枚設定］または［複数設定］を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

● 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P110)

［1枚設定］選択時

❶ ◄/►ボタンで画像を選ぶ

❷ [MENU/SET] ボタンを押す

［複数設定］選択時

❶ ▲/▼/◄/►ボタンで画像を選び、[DISP.]ボタンを押す（繰り返す）

● もう一度[DISP.]ボタンを押すと設定が解除されます。

❷ [MENU/SET]ボタンを押す

● ［複数設定］で一度に設定できる枚数には制限があります。

● 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。

本機の充電時に、カメラ内の画像を自動的に転送できるように設定することもできます。
(おまかせ画像転送)(P126)

■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	MP4
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	○	×
選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る])	○	○

- 動画を送信する場合はACアダプター(付属)で給電することをお勧めします。
- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、136 ページをお読みください。

準備:	
(カメラ側) ● 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC接続設定]で本機の設定も変更する必要があります。(P138)	**(パソコン側)** ● パソコンの電源を入れておく。 ● パソコンに画像を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。(P124)

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る]) P124

選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る]) P125

画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのユーザーアカウント[アカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内)]は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。
- 受信するフォルダー名は半角英数字20文字以内で設定してください。

(Windowsをお使いの場合)

対応OS:Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8/Windows® 8.1

例)Windows 7

1 受信するフォルダーを選び、右クリックする

2 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書やOSのヘルプをご参照ください。

(Macをお使いの場合)

対応OS:OS X v10.5 ～ v10.9

例)OS X v10.8

1 受信するフォルダーを選び、以下の順にクリックする
「ファイル」→「情報を見る」

2 フォルダーに共有の設定をする

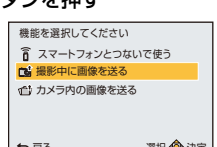
- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書やOSのヘルプをご参照ください。

撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])

1 [Wi-Fi]ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで[新規に接続]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで[撮影中に画像を送る]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



4 ▲/▼ボタンで[PC]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

5 ▲/▼ボタンで[ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 接続方法について詳しくは、130 ページをお読みください。

6 ▲/▼ボタンで接続したいパソコンを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力]を選び、パソコンのコンピューター名(Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名)を入力してください。

7 ▲/▼ボタンで送信するフォルダーを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(P137)

8 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P110)

- 続けて他のユーザーアカウントに画像を送る場合は、電源を入れ直してください。

選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

1 [Wi-Fi] ボタンを押す
2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [新規に接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
3 ▲/▼ ボタンで [カメラ内の画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
4 ▲/▼ ボタンで [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
5 ▲/▼ ボタンで [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 接続方法について詳しくは、130 ページをお読みください。

6 ▲/▼ ボタンで接続したいパソコンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力] を選び、パソコンのコンピューター名（Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名）を入力してください。

7 ▲/▼ ボタンで送信するフォルダーを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P137)

8 ▲/▼ ボタンで [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P110)

[1 枚設定] 選択時

❶ ◀/▶ ボタンで画像を選ぶ
❷ [MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定] 選択時

❶ ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[DISP.] ボタンを押す（繰り返す）
- もう一度 [DISP.] ボタンを押すと設定が解除されます。

❷ [MENU/SET] ボタンを押す
- [複数設定] で一度に設定できる枚数には制限があります。

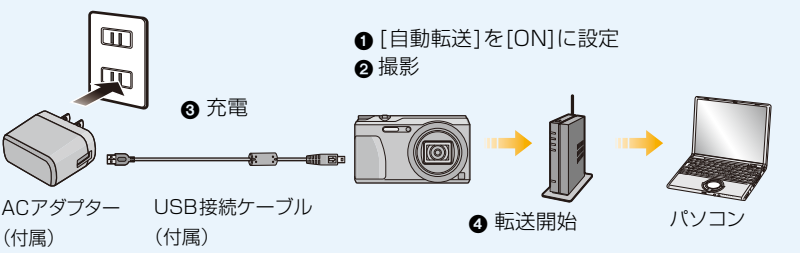
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- 設定したフォルダー内に送信日ごとのフォルダーが作成され、その中に画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- 続けて他のユーザーアカウントに画像を送る場合は、電源を入れ直してください。
- コンピューター名（Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名）にスペース（空白文字）などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名（Apple社製Macパソコンの場合はNetBIOS名）に変更することをお勧めします。

画像を自動で転送する（おまかせ画像転送）

おまかせ画像転送は、本機内の画像をパソコンに自動で転送する機能です。
本機をACアダプター（付属）に接続すると、転送が開始されます。
充電が始まると自動的に画像を転送する［自動転送］と、すぐに画像を転送する［今すぐ転送］があります。

［自動転送］の例



おまかせ画像転送を行うには、以下の手順に従ってください。

1 **おまかせ画像転送の設定をする（初期設定）（P127）**
2 **［自動転送］（P128）または［今すぐ転送］（P128）を行う**

- ［自動転送］を［ON］に設定して以降に撮影した画像は自動的にアップロードされるため、本機を他の人と共用するときなどに、意図せず画像がアップロードされるおそれがあります。アップロードされた画像による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ［おまかせ画像転送］の使用によってその他の損害を受けた場合も、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内や病院などに本機を持ち込む際は［機内モード］を［ON］に設定のうえ、本機の電源を切ってください。（P41）
- 充電エラーのときは、おまかせ画像転送が行われない場合があります。（P157）
- 内蔵メモリーに記録した画像は、おまかせ画像転送ができません。
- カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると、おまかせ画像転送はできません。
- おまかせ画像転送中（Wi-Fi接続ランプの青色点滅中）は転送を優先するため、電源が入りません。

おまかせ画像転送の設定をする

おまかせ画像転送を初めて使うときは以下の手順に従って設定してください。
次回以降は、[転送先設定]（P129）で設定を変更できます。

1 **Wi-Fiメニューから[Wi-Fi 設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**（P38）
2 **▲/▼ボタンで[おまかせ画像転送]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**
3 **無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する**
- 詳しくは、131 ページをお読みください。

4 **転送先の設定をする**
- 転送前の準備について、詳しくは123 ページの「パソコンに画像を送る」をお読みください。

❶ ▲/▼ボタンで接続したいパソコンを選び、[MENU/SET]ボタンを押す
❷ ▲/▼ボタンで送信するフォルダーを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

5 **▲/▼ボタンで[自動転送]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**
6 **▲/▼ボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**
- [自動転送]を[ON]に設定して撮影した画像のみが転送されます。

自動転送する

本機を充電している間に画像を転送します。

準備：[おまかせ画像転送]の設定をしておく。(P127)

1 電源を切る

2 （電源コンセントを使う場合）
ACアダプター（付属）と本機をUSB接続ケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプター（付属）を電源コンセントに差し込む

（パソコンを使う場合）
パソコンと本機をUSB接続ケーブル（付属）でつなぐ

- [充電優先]の設定(P129)に応じて、おまかせ画像転送が開始されます。
- パソコンの仕様によっては、おまかせ画像転送ができない場合があります。

- [自動転送]を[OFF]にしたときに転送されていない画像があると、転送するかを確認するメッセージが表示されます。お好みの設定を選んでください。

今すぐ画像を転送する

すぐに画像を転送します。

準備：[おまかせ画像転送]の設定をしておく。(P127)

1 ACアダプター（付属）と本機をUSB接続ケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプター（付属）を電源コンセントに差し込む

2 Wi-Fiメニューから[Wi-Fi 設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す(P38)

3 ▲/▼ボタンで[おまかせ画像転送]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

4 ▲/▼ボタンで[今すぐ転送]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

[転送先設定]

画像の転送先や設定を変更します。

1 Wi-Fiメニューから[Wi-Fi 設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（P38）
2 ▲/▼ボタンで[おまかせ画像転送]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
3 ▲/▼ボタンで[転送先設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
4 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容
[転送先]	接続する無線アクセスポイントを変更します。 **無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する** ● 詳しくは、131 ページをお読みください。
[転送サイズ]	転送する画像のサイズを変更します。 **[元画像]、[変更]** ● [変更]の画像サイズは[M]、[S] を選択できます。 画像の横縦比は変わりません。

[充電優先]

充電と画像転送の優先設定を変更します。

1 Wi-Fiメニューから[Wi-Fi 設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（P38）
2 ▲/▼ボタンで[おまかせ画像転送]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
3 ▲/▼ボタンで[充電優先]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
4 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容
[ON]	充電を優先します。充電後に画像転送を実行します。
[OFF]	画像転送を優先します。 ● バッテリー残量が少ない場合は、充電が優先される場合があります。

● 実行後はメニューを終了してください。

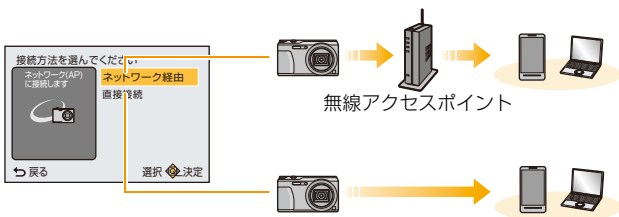
[ログ表示]

画像を転送した日や内容を確認できます。

1 Wi-Fiメニューから[Wi-Fi 設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（P38）
2 ▲/▼ボタンで[おまかせ画像転送]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
3 ▲/▼ ボタンで[ログ表示]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
● 転送した日時と内容が表示されます。確認後はメニューを終了してください。

接続について

Wi-Fi 機能や送信先を選択後、接続する方法を選びます。
無線アクセスポイントが使えない外出先や、普段使わない機器と一時的に接続する場合などでは、直接接続を行うと便利です。
以前と同じ設定で接続する場合、[履歴から接続]または[お気に入り接続]で接続すると、素早くWi-Fi機能が使えます。

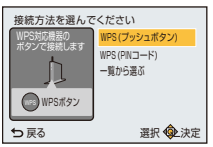


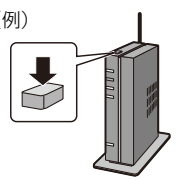
[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由して接続します。	P131
[直接接続]	お使いの機器が本機に直接接続します。	P133

自宅で接続する（ネットワーク経由）

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。



接続方法	設定内容
[WPS（プッシュボタン）]	WPSマークがあり、プッシュボタン方式Wi-Fi Protected Setup™対応の無線アクセスポイントを登録します。 **無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す** ● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。 （例） 
[WPS（PINコード）]	WPSマークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。 **1 ▲/▼ボタンで接続する無線アクセスポイントを選び、[MENU/SET]ボタンを押す** **2 本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する** **3 [MENU/SET]ボタンを押す** ● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。
[一覧から選ぶ]	WPSに対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。 ● 詳しくは 132 ページをお読みください。

WPSに対応しているかわからない場合（[一覧から選ぶ]で接続する）

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力]で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1　▲/▼ボタンで接続する無線アクセスポイントを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [DISP.]ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントの名称に半角英数字以外の文字が使われていると、正しく表示されない場合があります。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力]で接続する場合」をお読みください。

2　（ネットワーク認証が暗号化されている場合）暗号化キーを入力する

- 文字の入力方法については、78 ページの「文字を入力する」をお読みください。

■ [マニュアル入力]で接続する場合

1　「WPSに対応しているかわからない場合（[一覧から選ぶ]で接続する）」の手順1の画面で、▲/▼ボタンで[マニュアル入力]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2　接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ

- 文字の入力方法については、78 ページの「文字を入力する」をお読みください。

3　▲/▼ボタンでネットワークの認証方式を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

4　▲/▼ボタンで暗号化方式を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

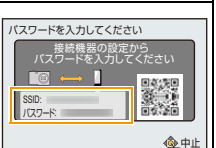
ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
[WPA2-PSK]/[WPA-PSK]	[TKIP]/[AES]
[共通キー]	[WEP]
[オープン]	[暗号化なし]/[WEP]

5　（[暗号化なし]以外選択時）暗号化キーを入力して[決定]を選ぶ

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(P154)、「Q&A 故障かな？と思ったら」(P157)をご確認ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

外出先で接続する（直接接続）

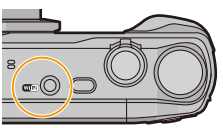
お使いの機器との接続方法を選択できます。
スマートフォンやタブレットなど、お使いの機器が対応している接続方法を選んでください。

接続方法	設定内容
[WPS接続]	[WPS（プッシュボタン）] **1** ▲/▼ボタンで[WPS（プッシュボタン）]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す **2** スマートフォンやタブレットなど、接続先の機器をWPSモードにする ● 本機の[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	[WPS（PINコード）] **1** ▲/▼ボタンで[WPS（PINコード）]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す **2** スマートフォンやタブレットなど、接続先の機器のPINコードを本機に入力する
[手動接続]	機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードを機器に入力する ● 接続先が[スマートフォン]の場合は、スマートフォンでQRコードを読み取って接続することもできます。(P113) 

以前と同じ設定で素早く接続する（[履歴から接続]/[お気に入り接続]）

Wi-Fi機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。
履歴やお気入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

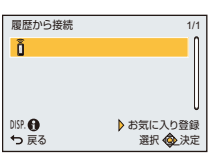
1 [Wi-Fi] ボタンを押す



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [履歴から接続] または [お気に入り接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[履歴から接続]	以前と同じ設定で接続します。
[お気に入り接続]	お気に入りに登録された設定で接続します。

3 ▲/▼ ボタンで接続したい項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



履歴をお気に入り登録する

1. [Wi-Fi] ボタンを押す
2. ▲/▼/◀/▶ ボタンで [履歴から接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
3. ▲/▼ ボタンでお気に入りに登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す
4. 登録名を入力する
   - 入力前、登録名は空欄で表示されます。
   - 文字入力の方法については、78 ページの「文字を入力する」をお読みください。
   - 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

お気に入り登録した項目を編集する

1 [Wi-Fi] ボタンを押す
2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで［お気に入り接続］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
3 ▲/▼ ボタンで編集したいお気に入り項目を選び、▶ ボタンを押す
4 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容
［お気に入りを消す］	—
［お気に入りの順番を変える］	▲/▼ ボタンで移動先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
［登録名を変える］	● 文字入力の方法については、78 ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

よく使うWi-Fi接続設定はお気に入り登録して保存しておく

履歴に保存される数には制限があります。よく使うWi-Fi接続設定はお気に入り登録して保存しておくことをお勧めします。(P134)

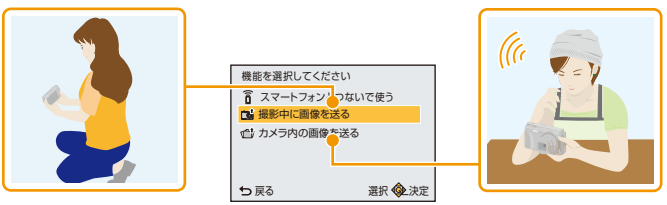
履歴やお気に入りの接続の詳細を確認する

履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細を表示させることができます。

- [Wi-Fi 設定リセット] を行うと履歴とお気に入り登録にした内容は消去されます。
- 多くのパソコンが接続されているネットワークに、[履歴から接続] や [お気に入り接続] で接続する場合、多くの機器の中から前回接続した機器を探すため接続されにくくなることがあります。
  接続できない場合は、[新規に接続] で接続し直してください。

画像の送信設定について

画像を送信する場合、[新規に接続]を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。
接続が完了したあと、送信する画像サイズを変更することもできます。



■ 本機で送信できる画像について

送信先	JPEG	MP4※
[スマートフォン]	○	○
[PC]	○	○

※ [撮影中に画像を送る]時は送信できません。

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。

撮影中に画像を送る

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で送信できます。

- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。

- [撮影中に画像を送る]で接続中は、撮影画面に[ ]が表示され、ファイルを送信中は[ ]が表示されます。
- 送信完了前に電源を切ったり、Wi-Fi接続を終了するなどした場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や再生メニューの使用はできない場合があります。
- 動画は送信できません。

カメラ内の画像を送る

撮影後に画像を選んで送信できます。

- 再生メニューの[プリント設定]の設定内容は送信されません。
- 本機以外で撮影した画像は送信できない場合があります。
- パソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

画像の送信設定を変更する

接続が完了した後に[DISP.]ボタンを押すと、送信する画像サイズを変更することができます。

[送信サイズ]	送信する画像のサイズを変更します。 **[元画像]:** サイズを変更せずに画像を送信します。 **[変更]:** 画像サイズは[M]、[S]から選択できます。 画像の横縦比は変わりません。

- 動画の送信サイズは変更できません。[動画分割]で動画を分割してください。(P102)

Wi-Fi設定メニュー

Wi-Fiメニューの設定方法は P38

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定を行います。
Wi-Fi接続中は[Wi-Fi設定]の変更はできません。

1 Wi-Fi メニューから[Wi-Fi 設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
2 ▲/▼ボタンで設定したい項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容
おまかせ画像転送	● 詳しくは、126 ページをお読みください。
PC接続設定 ワークグループを設定することができます。	パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。 （お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています） **[変更する]:** 接続するパソコンのワークグループを入力してください。 設定後はメニューを終了してください。 **[標準に戻す]:** お買い上げ時の状態に戻します。 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。 実行後はメニューを終了してください。 ● 文字入力の方法については、78 ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● パソコンを標準の設定でお使いの場合は、ワークグループを変更する必要はありません。
機器名称 本機の名前を変更することができます。	**1 [DISP.]ボタンを押す** **2 任意の機器名称を入力する** ● 文字入力の方法については、78 ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● 入力できる文字数は最大32文字です。

Wi-Fiメニューの設定方法は P38

項目	設定内容
Wi-Fi パスワード 誤操作や第三者によるWi-Fi機能の使用を防いだり、設定した個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護することをお勧めします。	パスワードを設定しておくと、Wi-Fi機能使用時、自動的にパスワード入力画面が表示されるようになります。 **[設定]:** 数字4桁で任意のパスワードを入力してください。 設定後はメニューを終了してください。 **[解除]** ● 文字入力の方法については、78 ページの「文字を入力する」をお読みください。 ● パスワードは必ず控えを取っておいてください。忘れてしまった場合、セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット] を行うとパスワードをリセットできますが、その他の設定もすべてリセットされます。
ネットワークアドレス表示 本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。	● 「MACアドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。 ● 「IPアドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。 （例：192.168.0.87）
認証情報 電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。	—

テレビで見る

本機で撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

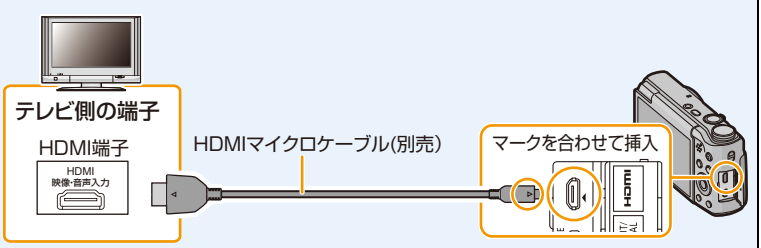
準備：本機の電源を切り、テレビの電源も切っておく。

- お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。

1 本機とテレビをつなぐ

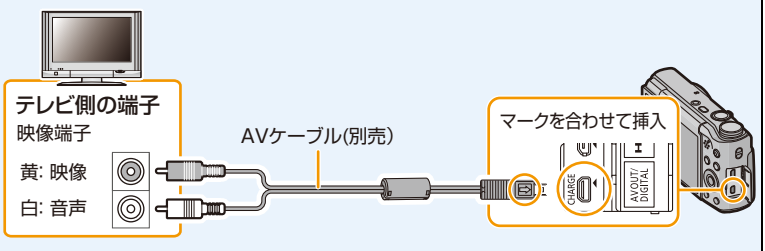
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  （斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）
  また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

HDMIマイクロケーブル（別売）で接続する場合



- 当社製HDMIマイクロケーブル（別売）をお使いください。
  – 品番：RP-CHEU15A（1.5 m）、RP-CHEU20A（2.0 m）
- 再生機能の一部は制限されます。
- 再生メニュー、セットアップメニュー、およびWi-Fiメニューは使用できません。
- [クリエイティブレタッチ] は使用できません。

AVケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製AVケーブル(別売)をお使いください。
  – 品番:DMW-AVC1
- [テレビ画面タイプ](P45)を確認してください。
- Wi-Fiメニューは使用できません。

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶]ボタンを押す

- [記録画素数]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- AVケーブル(別売)とHDMIマイクロケーブル(別売)を同時に接続しているときは、HDMIマイクロケーブル(別売)からの出力が優先されます。
- USB接続ケーブル(付属)とHDMIマイクロケーブル(別売)を同時に接続しているときは、USB接続ケーブル(付属)での接続が優先されます。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- 画面の横縦比が16:9のテレビでマルチ再生または再生ズームを行うと、画像の横縦比がゆがんで再生される場合があります。
- 本機のスピーカーからは音声は出ません。また、モニターに画像は表示されません。
- AVケーブルでテレビと接続したとき、[FHD]および[HD]で撮影された動画は、FHDおよびHDの画質では表示されません。
- テレビの説明書もお読みください。

SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した写真を再生することができます。

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

写真や動画をパソコンに残す

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことなどができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- **SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。**
  http://panasonic.jp/support/sd_w/

■ 使用できるパソコン(対応OS)

マスストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合: Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1
- Mac の場合: OS X v10.5～v10.9

■ パソコンでの再生・編集について

本製品には画像を再生または編集するためのソフトウェアを付属していません。
写真の再生や編集、および動画の再生には、以下のソフトウェアをお使いください。

写真用ソフトウェア

- Windows用: Microsoft® Windows フォトビューアー/Windows フォトギャラリー/Windows Live® フォトギャラリー(オンラインサービス)
- Mac用: Apple製iPhoto

動画用ソフトウェア

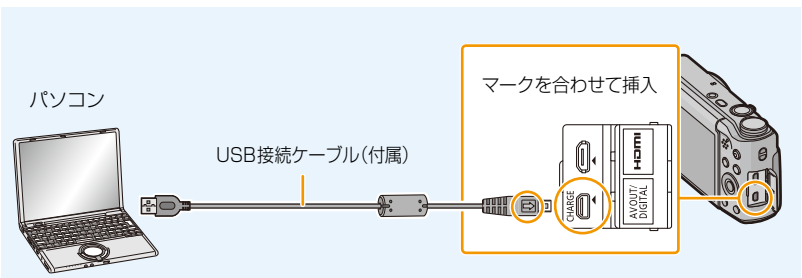
- Windows用、Mac用: Apple製QuickTime、iTunes
  (MP4形式に対応したソフトウェアが必要です)

- 上記のソフトウェアについては、2014年1月現在の情報です。ソフトウェアの仕様は予告なく変更される場合があります。将来にわたって動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンに搭載されていない場合は、提供元のホームページからダウンロードしてください。
- ソフトウェアのご使用方法については、提供元にお問い合わせください。

パソコンに画像を取り込む

1 USB接続ケーブル（付属）で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてからつないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル（別売：DMW-USBC1）以外は使用しないでください。



2 ▼ボタンで [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- **Windowsの場合：「コンピューター」にドライブ（「リムーバブルディスク」）が表示されます。**
- **Macの場合：デスクトップ上にドライブ（「NO_NAME」）が表示されます。**

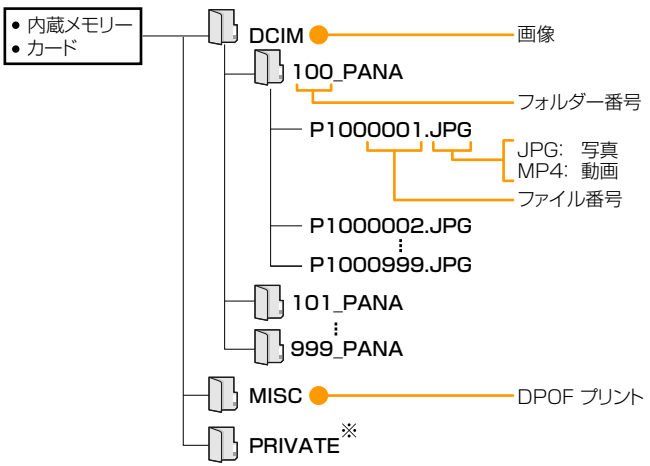
3 本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップする

- 画像の取り込みが終わったら、USB接続ケーブルを安全に取り外してください。

- 接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。
  USB接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

■ 本機のフォルダー構造について

パソコンに表示される本機の内蔵メモリー/カードの中(フォルダー構造)は以下のようになります。



※ 内蔵メモリーには作成されません。

- 以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
  - 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合（他社のカメラで撮影した場合など）
  - フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

■ PTPモードで接続する

USB接続ケーブルを接続したときに、[PictBridge(PTP)]を選んでください。

- カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードで動画は再生できません。

プリントする

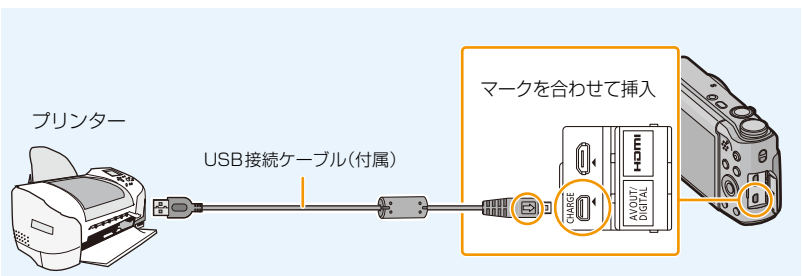
PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機のモニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とプリンターをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



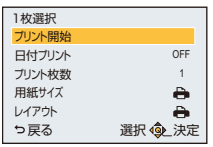
2 ▲ボタンで[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。
  プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
- USB接続ケーブルは、電源を切ってから抜いてください。
- [🔌](ケーブル切断禁止アイコン)表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
  (プリンターによって表示されない場合があります)
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 動画はプリントできません。

画像を選んで1枚ずつプリントする

1 ◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ▲ボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



- プリント開始前に設定できる項目については、147 ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

1 ▲ボタンを押す

2 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[DISP.]ボタンを押してください。 （もう一度[DISP.]ボタンを押すと設定が解除されます） ● 選択が終了したら、写真を選んでいる状態で[MENU/SET]ボタンを押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。 ● 1000枚以上の画像が保存されている場合、新しい順に999枚の画像がプリントされます。
プリント設定(DPOF)	[プリント設定]で設定(P105)された画像のみをプリントします。

3 ▲ボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。
- プリント開始前に設定できる項目については、147 ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面で、それぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖨]にして、プリンター側で設定してください。(詳しくは、プリンターの説明書をお読みください)
- [プリント設定(DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

日付プリント

ON	日付プリントされます。
OFF	日付プリントされません。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 日付/文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。

プリント枚数

プリントする枚数(最大999枚まで)を設定できます。

用紙サイズ

🖨	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト（本機で設定可能なレイアウト）

	プリンターの設定が優先されます。
	1面縁なし印刷
	1面縁あり印刷

	2面印刷
	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[ ]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[ ]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[日付焼き込み]/[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]でプリント枚数を設定するとき、[DISP.]ボタンを押すごとに日付プリントを設定/解除できます。(P105)

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。

(シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続してプリントするだけで、日付プリントができます。

※ 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BCM13
バッテリーチャージャー※1（充電時間：約165分）	DMW-BTC11
ACアダプター※2（充電時間：約180分）	DMW-AC9
ソフトケース	DMW-CT20
USB接続ケーブル	DMW-USBC1
AVケーブル	DMW-AVC1
HDMIマイクロケーブル	RP-CHEU15A、RP-CHEU20A

※1 海外用変換プラグ（Cタイプ）付き（P151）

※2 ACアダプター（別売：DMW-AC9）を使うと、本機にバッテリーを入れなくても撮影や再生ができます。

記載の品番は2014年1月現在のものです。変更されることがあります。

パナソニックグループのショッピングサイト

Panasonic Store

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
http://jp.store.panasonic.com/

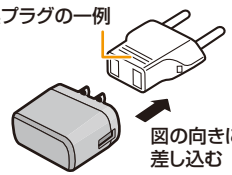
海外旅行先で使う

ACアダプター(付属)は、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。
  変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、ACアダプター(付属)と変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

■ 変換プラグの付け方

変換プラグの一例



■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF,B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2),SE	オランダ	C(C2),SE	ギリシャ	A,B,B3,C(C2),SE	スイス	A,B,C(C2),SE
スウェーデン	B,C(C2),SE	スペイン	A,C(C2),SE	デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2),SE	ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2),SE	ベルギー	B,C(C2),SE	ロシア	A,C(C2),SE				
アジア											
インド	B,BF,B3,C(C2)	インドネシア	B,B3,C(C2),SE	シンガポール	B,BF,B3	タイ	A,BF,C(C2)	大韓民国	A,C(C2),SE	台湾	A,C(C2),O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF,C(C2),SE	香港特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マカオ特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マレーシア	B,BF,B3,C(C2)
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B,C(C2),O
中南米											
アルゼンチン	BF,C(C2),SE	プエルトリコ	A,BF,C(C2)	ブラジル	A,C(C2),SE	メキシコ	A,C(C2),SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF,B3	エジプト	BF,B3,C(C2),SE	クウェート	B,B3,C(C2)	トルコ	A,B,C(C2),SE	南アフリカ共和国	B,BF,B3,C(C2)	モロッコ	A,C(C2),SE

タイプ	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

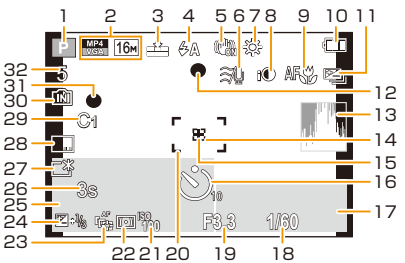
■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

モニターの表示

モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

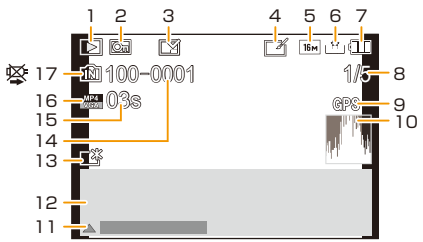
撮影時



1 撮影モード
2 画質設定(P91)
記録画素数(P79)
3 クオリティ(P79)
4 フラッシュ(P53)
5 手ブレ補正(P89)
手ブレ警告(P25):
6 風音低減(P91)
7 ホワイトバランス(P81)
クリエイティブコントロール調整表示(P70):
ブレビタモード(P29):
8 暗部補正(P85)
9 AFマクロ撮影(P56)
ズームマクロ撮影(P56):
10 バッテリー残量(P18)
11 オートブラケット(P59)
連写(P87):
12 フォーカス(P31)
13 ヒストグラム表示(P43)
14 スポットAFエリア(P83)
15 スポット測光ターゲット(P85)
16 セルフタイマー(P57)
17 追尾AF操作(P84)
18 シャッタースピード(P30)
19 絞り値(P30)
20 AFエリア(P31)
21 ISO感度(P80)
22 測光モード(P85)
23 追尾AF(P84)
24 露出補正(P58)
AF補助光(P88):AF✻
25 名前(P68)
月齢/年齢(P68)
現在日時
ワールドタイム(P41):
ズーム表示(P51):
EZ W T 1X
26 記録経過時間(P32):XXmXXs※
27 モニター輝度(P43)
モニターパワーセーブ(P44):
28 日付焼き込み(P90)
29 カスタムセット(P77)
30 内蔵メモリー(P21)
カード(P21):(記録時のみ表示)
31 記録動作(P32)
32 記録可能枚数(P23)
記録可能時間(P23、32):残XXmXXs※

※ m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。

再生時



1 再生モード（P92）
2 プロテクト（P107）
3 日付/文字焼き込み済み表示（P90、100）
4 クリエイティブレタッチ済み（P97）
5 記録画素数（P79）
6 クオリティ（P79）
7 バッテリー残量（P18）
8 画像番号
　トータル枚数
　再生経過時間（P35）：XXmXXs ※
9 位置情報表示（P98、118）
10 ヒストグラム表示（P43）
　プリント枚数（P105）：1
11 クリエイティブレタッチ（P97）
　動画再生（P35）
　パノラマ再生（P63）
12 撮影日時
　ワールドタイム（P41）：
　撮影情報（P50）
　名前（P68）
　月齢/年齢（P68）
13 パワーモニター（P43）
　モニターパワーセーブ（P44）：
14 フォルダー・ファイル番号（P144）
15 動画記録時間（P35）：XXmXXs ※
16 画質設定（P91）
17 内蔵メモリー（P21）
　ケーブル切断禁止アイコン（P145）

※ m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。

● 他機で撮影された画像には、アイコンや撮影情報などが正しく表示されない場合があります。また、本機の機能を使用できない場合があります。

メッセージ表示

確認/エラー内容をモニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	原因・対策
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P107)消去をしてください。
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P46)してください。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
内蔵メモリー残量がありません/メモリーカード残量がありません/内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへコピーするときのみ) ● DCF規格に準拠していない画像
内蔵メモリーエラー/フォーマットしますか?	パソコンでフォーマットした場合などに、このメッセージが表示されます。本機でフォーマット(P46)し直してください。データは消去されます。
メモリーカードエラー 本機では使えない状態です。 フォーマットしますか?	本機では使用できないフォーマットです。 ● 別のカードを入れてお試しください。 ● パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P46)し直してください。データは消去されます。
電源を入れ直してください/システムエラー	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー/このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。(P21)
カードを入れ直してください/別のカードでお試しください	● カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ● miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ● 別のカードを入れてお試しください。

メッセージ	原因・対策
リードエラー/ ライトエラー カードを確認してください	● データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を切ってからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を入れて記録または読み込みしてください。 ● カードが破壊されている可能性があります。 ● 別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	● 動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 ● 「Class4」以上のカードを使用しても停止する場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット（P46）することをお勧めします。カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。 パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P46）してください。
このバッテリーは使えません	● パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ● バッテリーの端子部が汚れている場合は、取り除いてください。

メッセージ	原因・対策
アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした	● 無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。 – 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。(P132) – 無線アクセスポイントの電源が入っていません。 – 本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。 ● 接続先のネットワーク設定をご確認ください。 ● 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHzの周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。
送信できる画像がありません	送信先の制限によって、送信できる画像が１つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。(P136)
通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ ネットワークが切断されました。送信を中止しました。	● 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。 ● サーバーから応答がない、または通信処理時間を超過しました。しばらくしてから再度実行してください。 ● 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。もう一度接続し直してください。
通信できませんでした	● 接続先のスマートフォン/タブレットについて、以下をご確認ください。 – スマートフォン/タブレットが動作していません。 – スマートフォン/タブレット側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。 – スマートフォン/タブレットの保存容量に空きがありません。
IPアドレスが取得できません。アクセスポイントのIPアドレス設定をDHCPにしてください。	● 接続する無線アクセスポイントのIPアドレスのDHCP設定を有効にしてください。
サーバと接続できませんでした	● ルート証明書を更新するメッセージが表示された場合は、ルート証明書の更新に同意してください。

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P157～166)をお試しください。

それでも解決できない場合は、**セットアップメニューの[設定リセット](P45)を行うと症状が改善する場合があります。**
これらの処置をしても直らないときは、付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

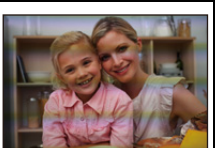
■ バッテリー、電源について

Q(質問)	A(回答)
充電ランプが点滅する。	● 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。 → 周囲の温度が10 ℃～30 ℃(バッテリーの温度も同様)のところでUSB接続ケーブル(付属)をつなぎ直し、再度充電をお試しください。
充電できない。	● USB接続ケーブル(付属)を抜き、接続し直してください。 ● パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。
電源を入れても動作しない。またはすぐに切れる。	● バッテリーが消耗しています。 → 充電してください。 ● 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 → [エコモード](P44)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
カード/バッテリー扉が閉じない。	● バッテリーを確実に奥まで挿入してください。(P16)

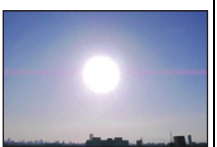
■ 撮影について

Q(質問)	A(回答)
撮影できない。	● モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？ ● 内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ → 不要な画像を消去して容量を増やしてください。(P37) ● 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。
撮影した画像が白っぽい。	● レンズに指紋などの汚れがつくと画像が白っぽくなることがあります。 → 汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	● 露出が正しく補正されているか確認してください。(P58)
1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。	● オートブラケット(P59)、または撮影メニューの[連写](P87)を[OFF]に設定してください。

■ 撮影について（続き）

Q（質問）	A（回答）
ピントが合わない。	● 撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 → 被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ● ピントが合う範囲から外れています。（P31） ● 手ブレや被写体ブレしています。（P25）
撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。	● 暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。（P25） ● 遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー（P57）を使って撮影してください。
オートブラケット撮影ができない。	● 内蔵メモリー/カードのメモリー残量はありますか？
撮影した画像が粗い。ノイズが出る。	● ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くありませんか？ （お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） → ISO感度を低くしてください。（P80） → 明るい場所で撮影してください。 ● シーンモードの[高感度]または撮影メニューの[連写]を[連写H]、[連写]に設定していませんか？ 高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。	● これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。 
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	● 蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。 ● 極端に明るい場所で撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

■ 撮影について（続き）

Q（質問）	A（回答）
撮影時に、モニターに赤っぽい横すじが出る。	 ● これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。写真または動画撮影に記録されます。 ● 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをお勧めします。
動画撮影が途中で止まる。	● 動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 ● 使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合や、パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット（P46）することをお勧めします。
被写体をロックできない。（動体追尾できない）	● 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AFエリアに合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AFエリアに合わせて設定してください。（P84）
パノラマモードでの撮影が途中で止まる。	● カメラを動かす速度が遅いと、カメラの動きを止めたと判断して撮影が終了します。 ● カメラを動かすときに撮影方向に対しての揺れが大きいと、撮影が終了します。 → パノラマモードで撮影するときは、撮影方向と並行に小さな円を描くようにして、半周を約4秒の速さ（目安）でカメラを動かしてください。 → 自分撮りモードでパノラマ写真を撮影するときは、カメラの中心を軸にして回転させるようにし、1/4周を約2秒の速さ（目安）でカメラを動かしてください。
連写速度が遅い。	**● 撮影を繰り返すと、使用条件によっては次の撮影まで時間がかかる場合があります。** **● 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写するときは、高速タイプのカードのご利用をお勧めします。** **● 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ/秒）が遅くなることがあります。**

■ モニターについて

Q(質問)	A(回答)
モニターが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	● この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ● ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内でモニターがちらつく。	● 電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯やLEDなどの照明器具の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
モニターが明るすぎたり、暗すぎたりする。	● [モニター輝度]が働いていませんか？(P43) ● [モニター調整]を行ってください。(P42)
モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	● これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
モニターにノイズが出る。	● 暗い場所では、モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	● [⊘]に設定していませんか？ → フラッシュ設定を変更してください。(P53) ● 以下の場合にはフラッシュは使用できません。 – オートブラケット撮影時(P59) – パノラマモード(P62) – シーンモード(P64)の[風景]/[夜景]/[手持ち夜景]/[逆光補正HDR]/[夕焼け]/[星空]/[ガラス越し] – クリエイティブコントロールモード(P70) – [連写]撮影時([]を除く)(P87)
フラッシュが複数回発光する。	● 赤目軽減(P53)にしている場合は、2回発光します。 ● 撮影メニューの[連写](P87)を[]に設定していませんか？

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	● [縦位置自動回転](P46)を[🖵📷]または[🖵]に設定しています。
再生できない。 撮影した画像がない。	● 内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ● パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？ この場合、本機で再生することはできません。 ● [スライドショー]や[絞り込み再生]で画像を絞り込んで再生していませんか？ → 絞り込みを解除してください。(P94)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	● 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ● 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ → このような画像を消去するには、フォーマット(P46)してください。 （他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください）
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	● 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P24) ● パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索するときに、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	● 室内や暗い場所でフラッシュを使って撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込むことがありますが、異常ではありません。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	● デジタル赤目補正([ϟA👁]、[ϟS👁])が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正されることがあります。 → フラッシュを[ϟA]、[ϟ]、[ϟ̸]または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(P89)

■ 再生について（続き）

Q（質問）	A（回答）
画面に「サムネイル表示」と表示される。	● 他機で撮影された写真ではありませんか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
動画に「カチッ」という音が録音される。	● 動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。 ● 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	● 撮影された動画は、MP4対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。 また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。

■ Wi-Fi 機能について

Q(質問)	A(回答)
Wi-Fi 接続できない。 電波が途切れる。 無線アクセスポイントが表示されない。	**(Wi-Fi 接続全般について)** ● セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット]をお試しください。 ● 接続する機器の通信圏内でご使用ください。 ● 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用していませんか？ → 同時に使用した場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。 ● バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます) **(無線アクセスポイントについて)** ● 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。 ● 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。 → 本機と無線アクセスポイントを近づけてください。 → 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。 → 本機の向きを変えてください。 → 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。 → [一覧から選ぶ]を行ってください。(P132) ● 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。 → 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1～11 チャンネルの中から選び、設定してください。 → 無線アクセスポイントのネットワークSSIDが非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して接続してください。(P132) もしくは無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。 ● 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティーの設定方法が異なります。(無線アクセスポイントの説明書をご確認ください) ● 5 GHz/2.4 GHz切り換え式の無線アクセスポイントが5 GHz帯で他の機器と接続中ではありませんか？ → 5 GHz/2.4 GHz同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。
スマートフォン/タブレットとの接続に毎回時間がかかる。	● スマートフォン/タブレットのWi-Fi接続設定によっては時間がかかることがありますが、故障ではありません。

■ Wi-Fi 機能について（続き）

Q（質問）	A（回答）
スマートフォン/タブレットのWi-Fi設定画面で本機が表示されない。	● スマートフォン/タブレットのWi-Fi設定で、Wi-Fi機能のON/OFFを切り換えてみてください。
パソコンに画像を送信できない。	● OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。
Wi-Fi機能を使用してパソコン（Mac/Windows）に接続できない。	● ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。 ● 本機と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OSによっては接続できないことがあります。 → 本機の［時計設定］/［ワールドタイム］が、Windowsの「日付と時刻」/「タイムゾーン」、またはMacの「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか確認してください。大きくずれている場合は、合わせてください。
Windows 8のパソコンとWi-Fi接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。	● Windows 8など、OSのバージョンによっては2種類のユーザーアカウント（ローカルアカウント/Microsoftアカウント）があります。 → 必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。ローカルアカウントを設定していない場合は、ローカルアカウントを設定してください。
Wi-Fi接続でパソコンが認識されない。	● お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。 → ［Wi-Fi設定］メニューの［PC接続設定］の［変更する］で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。 詳しくは、138 ページをお読みください。
修理に出したら設定内容が消えてしまった。	● 修理の内容によっては、本機に登録された設定内容は消えてしまうことがあります。 → 大切な設定は必ず控えを取っておいてください。
送信できなかった画像がある。	● 画像のサイズが大きすぎませんか？ → ［動画分割］で動画を分割してください。(P102) → ［転送サイズ］または［送信サイズ］で写真のサイズを小さくしてください。(P129、137)
Wi-Fiのパスワードを忘れた。	● セットアップメニューの［Wi-Fi設定リセット］を実行してください。(P45) → ただし、お客様がWi-Fi設定メニューで設定したすべての情報もリセットされます。
画像送信が途中で失敗する。	● 画像のサイズが大きすぎませんか？ → ［動画分割］で動画を分割して送信してください。(P102) → ［転送サイズ］または［送信サイズ］で写真のサイズを小さくしてください。(P129、137) → バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。
動画が送信できない。	● 画像のサイズが大きすぎませんか？ → ［動画分割］で動画を分割して送信してください。(P102)

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q(質問)	A(回答)
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	● 正しく接続されていますか？ → テレビの入力切換を外部入力にしてください。
テレビ画面と本機のモニターの表示される領域が違う。	● テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	● カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ → AVケーブル(別売)またはHDMIマイクロケーブル(別売)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P140)
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	● 本機の[テレビ画面タイプ]を確認してください。(P45)
パソコンとの通信ができない。	● 正しく接続されていますか？ ● パソコンが本機を正常に認識していますか？ → 接続時に[PC]を選んでください。(P143) → 本機の電源を入れ直してください。
パソコンにカードが認識されない。(内蔵メモリーになっている)	● USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。 ● 1台のパソコンに2つ以上のUSB端子がある場合、別のUSB端子に接続してみてください。
パソコンにカードが認識されない。(SDXCメモリーカードを使用している)	● お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 **http://panasonic.jp/support/sd_w/** ● 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 ● モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。
プリンターに接続して、プリントができない。	● PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 → 接続時に[PictBridge (PTP)]を選んでください。(P145)
プリントすると、画像の端が切れる。	● トリミング(切抜き)や「縁なし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング(切抜き)または「縁なし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください) ● お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。
パノラマ写真がうまくプリントできない。	● パノラマ写真は、横縦比が通常の写真と異なるため、正しく印刷できない場合があります。 → パノラマ写真に対応したプリンターをお使いください。(詳しくはプリンターの説明書をお読みください)

■ その他

Q(質問)	A(回答)
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプが赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	● 撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？(P88) ● 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	● ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	● ズーム動作や本機を動かしたときなどに明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、モニターの画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P24)
ズームを使って撮影すると画像が僅かにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● ズームの倍率によってはレンズの特性上僅かにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、これらは異常ではありません。
ズームの動きが一瞬止まる。	● EX光学ズームを使うとズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ズームが最大倍率にならない。	● ズームマクロ(P56)に設定していませんか？ ズームマクロ撮影時は最大3倍までのデジタルズームになります。
ファイル番号が連続して記録されない。	● 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。
ファイル番号がさかのぼって記録される。	● 電源を切らずにバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。したがって、再度電源を入れて撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録されることがあります。
カードをフォーマットできない。	● インテリジェントオートモードではフォーマットできません。他の撮影モードに変更してください。(P26)

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター(付属)を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などに長期間接触させない

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

モニターについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- 液体や砂が付着した場合、柔らかい乾いた布でふいてください。
- レンズが汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
- レンズバリアを無理に開けないでください。
- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
温度が高すぎたり低すぎたりすると、使用時間が短くなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプター（付属）とUSB接続ケーブル（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要なときがあります。（P151）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機を傷めます。

バッテリーの外装ラベルをはがしたり、傷つけたりしない

- 外装ラベルの一部またはすべてがはがれていたり、破れているバッテリーを使用すると、故障の原因になります。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

ACアダプター（付属）について

- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、AC アダプター（付属）の内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.2 Wの電力を消費しています）

カードについて

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

赤ちゃんモードで名前や誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

個人情報の保護のため、Wi-Fiパスワードを設定することをお勧めします。(P139)

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P45)
- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線LAN接続設定等の個人情報を含む情報を[Wi-Fi設定リセット]を行って必ず消去してください。(P45)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P108)をし、そのあと内蔵メモリーをフォーマット(P46)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、上記の「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

画像をWebサービスにアップロードするとき

- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Webサービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  （推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです）
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外しのとき、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- iPhoto、iTunes、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows VistaおよびWindows Live は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

さくいん

あ行

赤ちゃん……68
アクセス表示……21
暗部補正……85
位置情報記録……98
一脚……170
インテリジェントオートモード……27
インテリジェント ISO……80
インプレッシブアート……72
エコモード……44
オートパワー モニター……43
オートフォーカスモード……83
オートブラケット……59
オートレビュー……45
オールドデイズ……71
お気に入り登録する（Wi-Fi 接続）……134
お手入れ……167
おまかせ画像転送……126

か行

カード……20、21
ガイドライン表示……50
顔認識……28、83、84
画質設定……91
カスタムセット登録……42、76
カスタムモード……76
風音低減……91
画像横縦比……79
カテゴリー選択……94
カメラ内の画像を送る……137
ガラス越し……69
カレンダー検索……96
機器名称……138
機内モード……41
逆光補正……28
逆光補正 HDR……67
記録画素数……79
記録可能時間（動画撮影時）……23
記録可能枚数……19、23
クイックメニュー……40
クオリティ……79
クリエイティブコントロールモード……70
クリエイティブレタッチ……97
クロスフィルター……75
クロスプロセス……73
光学ズーム……51
高感度……69
高速連写……87
個人情報……169
コピー……108

さ行

再生ズーム……36
再生モード……92
撮影中に画像を送る……137
撮影モード……26
サムネイル表示……162
三脚……170
シーンモード……64
ジオラマ……74
自動電源 OFF……44
自分撮りモード……47、90
絞り込み再生……94
絞り優先 AE モード……60
写真のみ……94
シャッター優先 AE モード……60
充電……15
消去……37
人物……65
ズーム……51
ズーム位置メモリー……44
ズームマクロ撮影……56
スポーツ……65
スポット……83
スマートフォンとつないで使う……113
スライドショー……92

設定リセット 45
セピア 72
セルフタイマー 57
操作音 42
送信サイズ 137
測光モード 85
ソフトフォーカス 74

た行

タイトル入力 99
ダイナミックモノクローム 72
縦位置検出機能 25
縦位置自動回転 46
追尾 AF ..... 83、84
露付き 10
デジタル赤目補正 89
デジタルズーム ..... 52、86
手ブレ 25
手ブレ補正 89
手持ち夜景 66
テレビ画面タイプ 45
テレビ再生 140
テレビ接続設定 45
トイフォト 73
動画記録枠表示 44
動画再生 35
動画撮影 32
動画のみ 94
動画分割 102
時計設定 24
トリミング（切抜き） 104

な行

内蔵メモリー 21
認証情報 139
ネットワークアドレス表示 139

は行

バージョン表示 46
ハイキー 71
ハイダイナミック 73
パソコン接続 123
バッテリー 15
パノラマ 62
パワー モニター 43
ヒストグラム表示 43
日付選択 94
日付プリント ..... 106、147
日付焼き込み 90
美肌 65
ピント 31
ファイル番号 ..... 35、144、153
風景 65
フォーマット 46
フォルダー構造 144
フォルダー番号 ..... 144、153
フラッシュ 53
フラッシュ連写 87
プリント設定 105
プリント枚数 ..... 105、147
ブレピタモード 29
プログラム AE モード 30
プロテクト 107
ペット 68
星空 69
ポップ 71
ホワイトバランス 81

ま行

マニュアル露出モード 61
マルチ再生 36
文字入力 78
文字焼き込み 100
モニター ..... 14、50、152
モニター輝度 43

モニター調整 42
モニターパワーセーブ 44

や行

夜景 66
夜景 & 人物 66
夕焼け 69

ら行

リサイズ（縮小） 103
リモート撮影 117
料理 67
レタッチ ..... 97、101
レトロ 71
連写 87
ローキー 72
露出補正 58
露出補正リセット 45

わ行

ワールドタイム 41
ワンポイントカラー 75

英数字

AC アダプター（付属） ..... 17、126、168
AF 補助光 88
AF マクロ撮影 56
AF 連続動作 91
AV ケーブル 141
DCF 規格 35
EX 光学ズーム 52
HDMI マイクロケーブル 140
i 手持ち夜景 29
iA ズーム ..... 52、86
iHDR 29
Image App（イメージアップ） 112
iOS 112
IP アドレス 139
ISO 感度 80
MAC アドレス 139
MP4 32
PC 接続設定 138
PictBridge（ピクトブリッジ） 145
SD スピードクラス 21
USB 接続ケーブル ..... 17、143、145
Wi-Fi（ワイファイ） 機能 ..... 109、111
Wi-Fi（ワイファイ） 設定メニュー 138
Wi-Fi（ワイファイ） 設定リセット 45
Wi-Fi（ワイファイ） パスワード 139
WPS 131

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて
使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2014